



筑波大学 人文・文化学群
人文学類案内 2012
College of Humanities

筑波大学 人文・文化学群人文学類案内 2012

編集・発行：筑波大学 人文・文化学群 人文学類

発行責任者：伊藤 眞

所在地：〒305-8571 茨城県つくば市天王台1-1-1

Phone-Fax：029(853)4001

発行日：平成23年7月15日

ホームページ：<http://www.jinbun.tsukuba.ac.jp/>

携帯サイト：<http://www.jinbun.tsukuba.ac.jp/mobile/web.php>



筑波大学
University of Tsukuba



ようこそ人文学類へ

人間とは何なのか？

61名のスペシャリストと基礎からじっくり考えてみよう。

人文学類は哲学、史学、考古学・民俗学、言語学という4つの主専攻で構成されています。

みなさんが日常的で断片的な生活に埋没せずに、人間としての確固とした存在原理を追求したいのなら、人間と社会・自然環境とのあり方の基本的構造を見出したいのなら、人間と宗教との本質的な関わりを認識したいのなら、哲学主専攻が応えてくれます。

みなさんが日本列島に住みついた人々の足跡を実証的に探求したければ、中国社会あるいは中国文明の影響下にあった地域社会の本質を探りたいければ、古代地中海文明の基盤の上に繰り広げられたヨーロッパ文化を把握したければ、人間集団の空間組織を復原し、時間と空間の両面からその変化の過程を解明したければ、史学主専攻が応えてくれます。

みなさんが遺跡・遺物を素材として、人々の歴史の復原と解釈に取り組みたいなら、フィールドワークによって、価値観を異にする人々の行動様式の理解に取り組みたいなら、考古学・民俗学主専攻が応えてくれます。

みなさんが実証的な言語研究の方法を考究し、実践することを目標とするなら、個人と社会のレベルで言語に関する実際的な問題を解決することを目標とするなら、日本語、中国語、英語、フランス語、ドイツ語、ロシア語の言語的特質、歴史、機能と構造を体系的に探求することを目標とするなら、言語学主専攻が応えてくれます。

各主専攻あわせて17のコースがあります。文献を読み解く力を養い、基礎となる語学力を身につけ、現代的な課題も積極的に取り入れながら、皆さんの知的好奇心を十分満たせるようなカリキュラムを用意しています。

120名の入学者に対し、61名の専任教員がみなさんを待っています。

人文学類長 伊藤 眞(独語学)

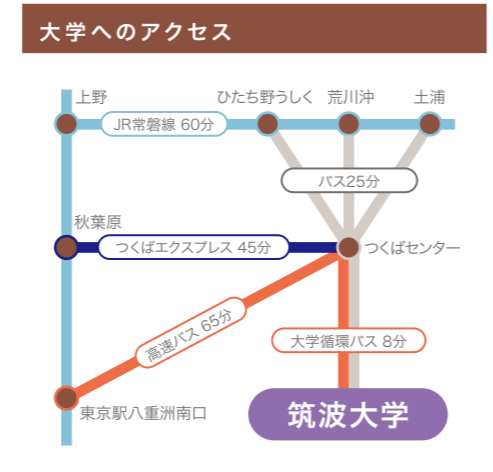
CONTENTS

ようこそ人文学類へ	1	言語学主専攻	17
人文学類とは	2	一般言語学コース	18
留学制度	4	応用言語学コース	19
哲学主専攻	5	日本語学コース	20
哲学コース	6	中国語学コース	21
倫理学コース	7	英語学コース	22
宗教学コース	8	仏語学コース	23
史学主専攻	9	独語学コース	24
日本史コース	10	露語学コース	25
東洋史コース	11	卒業生の進路 就職と進学	26
西洋史コース	12	卒業生のメッセージ	27
歴史地理学コース	13	Q&A	28
考古学・民俗学主専攻	14	入試情報	29
先史学・考古学コース	15		
民俗学・文化人類学コース	16		

**筑波大学
人文・文化学群人文学類**

■昭和49年開設
入学定員……120名
現教員数……61名

■平成21年度入学者
AC入試……4名
推薦入学……28名
前期試験……82名
後期試験……17名
入学者……131名



人文学類とは？

筑波大学の組織

筑波大学には学生の所属する「学群・学類」という組織があります。サイズから言うと、学群は学部、学類は学科くらいに相当しますが、専攻の成り立ちから言うと、人文学類は人文科学の多くの分野をそそえていることから、学部と同等と考えてください。

「人文・文化学群」は、人文学類のほか、比較文化学類、日本語・日本文化学類のあわせて3つの学類で構成され、この3学類のカリキュラムに共通の科目が設けられ、人文科学系統の科目を互いに履修しやすく工夫されています。詳しくは下記のウェブページをご覧ください。

<http://www.humcul.tsukuba.ac.jp/>



卒業後も研究を続けたい人のために大学院人文社会科学研究所があり、そこでは人文学類のほとんどの教員が指導にあたっていているため、教育研究内容の一貫性が高くなっています。修士課程の教育研究科に進学する卒業生もいます。

人文学類の主専攻とコース

人文学類には、哲学主専攻、史学主専攻、考古学・民俗学主専攻、言語学主専攻という4つの主専攻分野があります。それぞれの主専攻分野は、さらにいくつかのコースに分かれ、人文学類全体では17のコースがあります。

筑波大学の教育組織(学生の所属)

学群	学類	人文学類	
人文・文化学群	人文学類 比較文化学類 日本語・日本文化学類	哲学主専攻	哲学コース 倫理学コース 宗教学コース
社会・国際学群	社会学類など	史学主専攻	日本史コース 東洋史コース 西洋史コース 歴史地理学コース
人間学群	教育学類など	考古学・民俗学主専攻	先史学・考古学コース 民俗学・文化人類学コース
生命環境学群	生物学類など	言語学主専攻	一般言語学コース 応用言語学コース 日本語学コース 中国語学コース 英語学コース 仏語学コース 独語学コース 露語学コース
理工学群	数学類など	大学院	
情報学群	情報科学類など	修士課程	教育研究科 など
医学群	医学類など	博士課程	人文社会科学研究所 など
	体育専門学群		
	芸術専門学群		

履修について

人文学類の授業科目は下表のように区分されます。目的意識をもってこれらの全科目群を計画的に履修すると、将来への展望が開けてきます。たとえば、スペシャリストを目指す人は、自由科目として専門分野を重点的に履修することができます(専門重点化)。ジェネラリストを目指す人は、関連科目・自由科目として人文系だけでなく社会系、芸術系、理科系の科目を広く履修したり、専門外の特定分野を集中的に学んで教養を深めたりすることも可能です(教養重点化)。教員を目指す人は、関連科目・自由科目として

教育学類の科目を意識的に履修すると付加価値が高まります(教職重点化)。国際派を目指す人は、関連科目・自由科目として特定の外国語を鍛える科目を重点的に履修することができます(語学重点化)。

なお、卒業要件以外の「教職科目」や「博物館学」の単位を修得すれば、教員や学芸員の資格が得られます。人文学類で取得できる教員免許状の種類と教科は、中学校一種と高等学校一種の国語・社会(高校は地理歴史、公民)・英語・ドイツ語・フランス語・中国語の普通免許状です。

人文学類の授業構成(平成23年度)

授業科目の区分	内 容	標準的な履修計画				単位数	
		1年	2年	3年	4年		
専門基礎科目	専門教育に必要な基本的な知識の修得	〇〇 〇〇	〇〇 〇〇			12単位	
専門科目	主専攻コースの専門的な内容の修得	〇〇 〇〇	〇〇 〇〇 〇〇 〇〇	〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇	卒業論文 〇〇 〇〇	54単位	
基礎科目	総合科目	I=フレッシュマンセミナーおよび初年次導入科目 II=幅広い視野を育成する科目 (理系、文系、ならびにそれらが融合した科目群から選択)	〇〇 〇〇	〇〇			2単位 6単位
	体 育	健康管理と体力増進	〇	〇			2単位
	第一外国語	外国語の実用能力の育成(英語・ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語・スペイン語・朝鮮語)	〇〇 〇	〇			4.5~ 5.5単位
	第二外国語	外国語の実用能力の育成 (上記外国語のうち第一外国語以外の言語)	〇〇 〇				4.5単位
	情報処理	情報科学についての基礎的な能力の育成	〇〇				2単位
	国 語	日本語の文章作成技術の養成	〇〇				3単位
関連科目	芸 術	芸術を鑑賞する力を培い自ら制作することを学ぶ科目	〇	〇	〇	〇	自由
	人文・文化学群 共通科目	学群共通の基礎的・入門的な科目	〇〇				2単位
	主専攻以外の科目	〇〇 〇〇	〇〇 〇〇	〇〇	〇〇	16単位	
自由科目	学生が自分の考えで筑波大学全体の授業科目の中から自由に選択する科目	〇〇 〇〇	〇〇 〇〇	〇〇	〇	16~ 17単位	
						卒業単位125単位	
教職科目	教員資格を得るために必要となる科目	〇〇 〇〇 〇〇	〇〇 〇〇 〇〇	〇〇 〇〇 〇〇	教育実習 10単位を限度として 自由科目に認定		

筑波大学は54か国・地域の大学・機関と229の交流協定を結んでいます(平成23年4月1日現在)。このうち人文学類生が交換留学できる協定校は下記の通りです。

- 浙江大学、南開大学、西安交通大学、吉林大学、北京航空航天大学、厦門大学、中山大学、中国科学技術大学、華南師範大学、湖南大学、澳門大学(中国)
- 国立中山大学、国立清華大学、国立政治大学、国立台湾大学(台湾)
- 高麗大学校、梨花女子大学校、弘益大学校、慶北大学校、啓明大学校(韓国)
- ベトナム国家大学ホーチミン校(ベトナム)
- フィリピン大学(フィリピン)
- カセサート大学(タイ)
- チリ大学(チリ)
- カトリカ大学(ペルー)
- ブリティッシュ・コロンビア大学(カナダ)
- カリフォルニア大学、イサカ大学、パーデュー大学、ワシントン大学(セントルイス)、ワシントン大学(シアトル)(アメリカ合衆国)
- モナシュ大学、オーストラリア国立大学、クイーンズランド大学(オーストラリア)
- パイロイト大学、ベルリン自由大学、ボン大学(ドイツ)
- ヴィクトール・セガレン=ボルドー第二大学、フランシュ=コンテ大学(フランス)
- トウェンテ大学(オランダ)
- サラマンカ大学(スペイン)
- シェフィールド大学(英国)
- カレル大学(チェコ)
- ワルシャワ大学、ヤゲウォ大学(ポーランド)
- タリン大学(エストニア)
- ヴィリニウス大学(リトアニア)
- ラトビア大学(ラトビア)
- スース大学(チュニジア)
- カイロ大学、アインシャムス大学(エジプト)
- ホウアリ・ブーメディエン工科大学(アルジェリア)
- セブハ大学(リビア)
- モハメッド5世大学-アグダル、カティ・アヤド大学(モロッコ)
- サンクトペテルブルグ大学、モスクワ市立教育大学(ロシア)
- キエフ国立大学(ウクライナ)
- タシケント国立東洋学大学、世界経済外交大学、サマルカント国立外国語大学(ウズベキスタン)
- ユーラシア国立大学、カザフ国立大学、カザフ経済大学(カザフスタン)
- キルギス国立大学(キルギス)
- ロシア・タジク・スラヴ大学(タジキスタン)
- ボアジチ大学(トルコ)
- イマーム大学、キング・アブドゥール・アジーズ大学(サウジアラビア)

協定に基づく交換留学の場合、授業料相互免除および単位互換制度があります。奨学金や単位互換制度など、留学に関する詳しい情報については下記のウェブページをご覧ください。

<http://www.tsukuba.ac.jp/global/go-abroad.html>

私の留学生活(サラマンカ大学:スペイン)4年 中川 紗智

大学では、スペイン語・スペイン文化を学ぶプログラムと、ラテンアメリカ地理やポルトガル史に関する科目を受講しました。授業は当然のことながら全てスペイン語で行われるため、ついていくのが大変でしたが、日本で学ぶのとはまた違ったアプローチの仕方が新鮮で、とても興味深く面白く感じました。授業以外でも、日本語を勉強しているスペイン人学生たちと言語交換(互いの母語を教えあうこと)を行い、一緒に食事をしたり遊んだりしながら語学力を上げることができました。

また、長期休暇中には、ヨーロッパ各国-ポルトガル、ドイツ、スウェーデン、フィンランド、バルト諸国などを一人で旅行し、様々な経験をしました。

それまで一度も海外に行ったことがなく語学もさほど得意ではなかった私ですが、留学生活をおくる中で今まで知らなかった沢山の異なった文化や価値観に触れ、それらに体当たりでぶつかることで、自分のなかに大きく新しい世界が拓けたように思います。



私の留学生活(サンクトペテルブルグ大学)卒業生 福島 英恵

授業は週5日で計20時間であり、習熟度別に学べます。言語を学ぶためのコースなので、学生は皆外国人で国際色豊かです。授業だけでは生きたロシア語のコミュニケーションが十分できませんが、それは寮生活でカバーできます。寮は2~3人部屋で、言葉を学ぶには非常に良い環境です。私は幸い2人のロシア人学生のルームメイトに恵まれ、ロシア語で交わされる自然体の会話を毎日聞き、彼女たちと話をしているうちに飛躍的に聴く力と話す力が身に付きました。

サンクトペテルブルグ市は町全体が世界文化遺産で数々のロシア文学の舞台にもなっている風情のある町です。人々はとても洗練された町であることに誇りを持っており、首都モスクワへのあからさまな対抗意識を見せるときの彼らは微笑ましいほどです。

現在、私はロシア留学で磨いた語学力を活かして、モスクワに駐在事務所を持つ東京の専門商社で元気に働いています。どうか後輩の皆さんも充実した人文学類の交換留学制度を使って積極的に海外で学んでください。



ネヴァ川沿いの堤防で寛ぐ水兵たち

哲学 主専攻 Philosophy

■哲学コース ■倫理学コース ■宗教学コース



純粋理性批判第二版扉



トマス・アクィナス

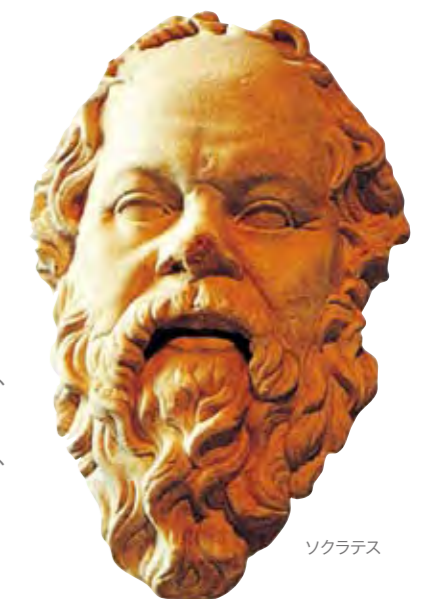
哲学主専攻について

人文学類の「哲学主専攻」は、「哲学」、「倫理学」、「宗教学」という3つのコースにそれぞれ3-4名の専任教員(さらに数名の非常勤講師)を擁しており、内容的にも、古代、中世、近現代の思想を万遍なく、また西洋思想のみならず、東洋思想に日本思想までカバーした全国でも有数の充実した学びの環境を提供します。学びのスタイルも、文献を緻密に読み解くものから実地調査を重視するものまで様々ですが、どのコースに所属しても他コースの授業を学修することが容易であり、質、量ともに申し分のない学修経験を積むことが可能です。

倫理学コース 桑原 直己

2011年3月11日は、日本国全体のみならず世界的な視点から見ても、今後時代の大きな転換点として記憶される可能性があります。まず大震災で直接被災した地域では、これまで当たり前享受してきた生活のインフラが根こそぎ破壊されてしまったため、「日常性の再構築」とでもいうべき事態に直面しています。さらにはこれに続く原子力発電所の事故は、これまでも賛否の議論が分かれてきた原子力エネルギーに現実には私たちが依存して生きてきたという事実を容赦なくつきつけています。ここから、科学技術の進歩とこれに支えられる形での経済・社会の「右肩上がりの成長」という、これまでの日本社会で暗黙のうちに前提されていた価値観を見直そうとする機運もあります。

このように私たちの生き方の根柢が問い直されつつある今こそ、哲学、倫理学、そして宗教という、広い意味での「思想」についての深く透徹した視野が切り開かれることが求められています。哲学主専攻では、各分野における本格的な研究者たちをスタッフに揃え、そうした時代の要請に応える意欲に溢れた学生諸君を待っております。



ソクラテス

哲学 主専攻 Philosophy

哲学コース

授業科目

- 哲学
- 哲学特講
- 西洋哲学史
- 東洋哲学史
- 哲学演習
- 哲学史演習



デカルト

現代世界に対応するフレッシュな知性

教授 [西洋近代哲学] 谷川 多佳子

哲学は、私たちの周りを囲む世界や学問・思想について、その中心となる原理、一貫した本質を見だし、さらに、批判的、創造的に再構成・体系化を企てます。哲学は、また、それらの根源的な意味を問い、わたしたちがよりよく生きる途を探究する知恵を養います。哲学を通じて得られる強靱な思考と柔軟な発想は、普遍的な原理と知恵の構築をめざすものです。本コースでは、哲学の入り口として、具体的に、西洋哲学(古代、近代、その他)・東洋(中国)哲学などがあり、古代以来、現代に至る哲学の蓄積や学問の方法について学びます。

哲学の基礎と方法を身につけ、批判的かつ創造的に複雑な現代世界に対応していく、若いみなさんのフレッシュな知性を求めています。



谷川 多佳子 (西洋近世哲学)

開かれた哲学を勉強してほしい。



久保 徹 (西洋哲学)

ギリシア哲学、とくにプラトンを研究しています。



高尾 由子 (西洋近世哲学)

知ること、考えること、話し合うことを何よりも大切に、楽しんでください。



檜垣 良成 (西洋哲学)

カントを中心に理論と実践を考えています。哲学における(対話)の重要性を痛感しています。

哲学はどんな授業?

西洋哲学は古代ギリシア哲学から始まります。プラトン、アリストテレスを中心にこの哲学をpushし、近代哲学としては、デカルト、パスカル、ライブニッツ、カント、フィヒテ、シェリングなどのフランス、ドイツの哲学が主に取り上げられます。またメルロ＝ポンティその他の現代哲学にも触れられます。一方、東洋哲学では儒教を中心に老荘思想・道教思想など、はば広く中国の哲学を学ぶことができます。

先輩たちの卒業論文

- ・プラトンにおける正義と幸福
- ・老子についての一考察
- ・伝統的懐疑論とデカルトの方法的懐疑
- ・カント『純粹理性批判』の研究
- ・ベルクソンにおける客観性の問題
- ・哲学的対話の成立条件

コースの声



卒業生 實川 裕亮

私たちは誰も、一度くらいは哲学的な問題に直面したことがあるでしょう。なぜ私は私であって他の誰でもないのか、「神」は存在するのか、などの問題です。このような問題に出会った時、私たちに二つの選択肢があります。立ち向かうか、目を背けるかです。多くの場合、私たちは後者の選択をしているように思います。というのも、これらの問題の答えを探し出すことは容易ではなく、また答えを知らなくとも日常生活を送る上では何の不自由もないからです。これらの問題から目を背け、忘れ去ることができるのならそれもいいでしょう。しかし、もし果敢にも立ち向かうのであれば、ある種の道具の使い方を習得するということが必要不可欠となります。具体的には、それは古代から現代に至るまでのさまざまな哲学的概念を用いた論証の仕方の習得です。それらの習得を通じて先人たちの哲学に親しむことは、自分の持つ哲学的な問題に取り組む際に大きな助けとなるだけでなく、それまで自分では全く気がつかなかった広大な世界が実は自分の目の前に広がっている、ということを私たちに気づかせてくれるでしょう。もしあなたが哲学的な問題から目を背け続けることができないなら、その好奇心を片手に哲学の冒険に繰り出してください。その冒険の先には、今は想像もできないほど広い世界があなたを待っているはずですよ。

哲学 主専攻 Philosophy

倫理学コース

授業科目

- 倫理学
- 日本倫理思想史
- 西洋倫理思想史
- 東洋倫理思想史
- 倫理学特講
- 倫理学演習

クローン時代の倫理学

倫理学は、人と人との間に生じる関係について学ぶ学問です。歴史的に人間のことをホモ・クワレンス(悩む人間)と呼んできたのも、人との関係がとて難題だからです。家族、友人、学校、そして社会、国家、世界、地球、さらに過去の先人たちとの関係等々。現代社会では環境、臓器移植、遺伝子組み換え、クローン等々と私たちとの倫理的な関係が根底から問われています。現代社会は倫理的テーマの宝庫です。

倫理学コースは、過去と現代、さらには問題意識のフィールドに応じて、西洋・東洋・日本の各倫理を学べるように授業が設けてあります。若いみなさんのフィーリングに期待します。



伊藤 益 (古代日本の倫理と論理)

古代ローマのことわざにfestina lenteということばがあります。「ゆっくり急げ」という意味ですが、このことばをかみしめながら、皆さんとともに学んでゆきたいと思えます。



桑原 直己 (トマス・アキナスの倫理思想)

人文学類の哲学主専攻全体に言えることですが、特に倫理学コースは腰を据え、本格的に倫理思想に対する研究に取り組む学生に適した場です。学生諸君にはスケールの大きな研究・思索を展開されることを期待します。



千葉 建 (ドイツ啓蒙期の倫理学)

倫理学は、自分以外の何者かと関係して生きてゆくことの意味について考える学問です。倫理学をともに学ぶことによって、よりよい関係に気づき、それを築いてゆく力を身につけることができればうれしく思います。



上:倫理学コース担当教員
下:キルケゴール

コースの声



卒業生 沓掛 大樹

高等学校の倫理や世界史で、ソクラテスやプラトンから始まり、何人も哲学者の名前やその思想の用語を覚えさせられた経験は、どなたにもあることでしょう。ともすれば彼らの考えというのは分かりにくいばかりで、自分たちの生活に沿ったものには思えないかもしれません。しかしそうした哲学者や思想家たちの考えを、現実の世界や人間関係との結びつきの中で捉えて自分自身のもの見方に活かすことができる、というのが倫理学の面白みではないかと思います。

普段私たちは、自分の外側にある物や事柄にこそ関心を向けがちで、その自分がどのような価値観や思想に基づいて行動しているかには意外と無頓着になりがちです。ですが今自分たちがどのような思想や規範の上で立って生きているかを反省的に問い直していった先にこそ、今後自分たちが行動していくための有効な指針が見出せるのではないのでしょうか。倫理学コースでは、先哲の文章を読み解くなどする中で、こうした人間のあり方の根本について深く考えていくことができます。政治経済や地球環境などについてますますの状況悪化が予想される中で、自分がどのような立場をとって生きていくかを見つめ直すためにも、倫理学コースで、思想について知りそして考える喜びに触れてほしいと思います。

(本学大学院人文社会科学研究所在学)

倫理学はどんな授業?

倫理学の基本的な問題について、思想史の上から検討を加えながら問題の所在を明らかにし、それが現代の倫理的課題としてどんな意味があるかを考えます。内容は、(1)序、(2)プラトンのイデア論、アリストテレスの幸福論、古代倫理と現代倫理、(3)義務論と幸福論のもつ意味-功利主義の再検討、(4)現代倫理の諸問題(科学技術と倫理、生命と倫理、環境と倫理)などから構成されます。

先輩たちの卒業論文

- ・生命倫理における「自己」領域の臨界点
- ・共苦の思想-親鸞と利他行-
- ・「三民主義」に見る孫文の西洋理解
- ・本居宣長の「もののおはれ」について
- ・不安の中の実存
-キルケゴール『不安の概念』研究-
- ・ヤスパースにおける<限界状況>と<直観>

宗教学コース

授業科目

- 宗教学 ■ 比較思想論 ■ 東洋宗教思想史 ■ 西洋宗教思想史 ■ 宗教学演習 ■ 宗教哲学演習



あなたには自分の魂の叫びが聴こえますか？ 教授 [比較思想、仏教学] 佐久間 秀範

世界の国々では宗教を持たない人は人間として信用されないのだということが日本人にはどうもピンと来ない。おそらくは明治時代に「宗教」が迷信同等の低いものとされたことが端緒となっているのだろう。現在の世界情勢から、日本でもようやく宗教の意味を問直すことができる環境になってきた。世界にさまざまな宗教があるが、共通するところはおそらく「心の救い」であろう。哲学主専攻で扱う思想は西洋・東洋に限らず重なっているが、宗教学コースでは「魂の救い」をいつもどこか頭の片隅に置きながら研究に取り組んでいると考えると判りやすい。宗教学コースでも極めて緻密な文献の読解を基礎とする論理学、哲学的な議論を扱うこともあり、また世界の宗教思想を比較し共通の現象を見いだす研究や、宗教にかかわる人々を社会的に扱うこともある。その方法は千差万別である。しかし、いつも「人々の心」を離れることはない。医療の現場で、教育の現場で、理論と実践はマニュアル通りでも、この人の治療ではよく治り、この人に教わるとよく学べるという現実、根本に人間性の量り知れない豊かさが問われていることを示している。これが宗教の持つ大きな役割であろう。不思議にも明るく面白い教授陣が揃っている宗教学コースをぜひのぞいてみてください。お待ちしております。



上: 両界曼荼羅
下: 蛇の宗教的シンボル



小野 基 (仏教論理学の研究)
サンスクリットを学んで、インド思想の大森林へと旅立とう! 地図を作るのは君だ!



土井 裕人 (西洋古代の宗教思想)
思想を挙げるまでもなく、人間の関わる様々な領域を宗教抜きに理解しようとすることはできません。そこに宗教や宗教学を学ぶ面白さがあります。



保呂 篤彦 (宗教哲学)
宗教哲学者、西谷啓治曰く。宗教はそれを必要としない人にとって必要である。宗教を必要としている人も、必要としない人も大歓迎です。

授業でどんなことを学べる?

今日の学際的な研究動向に対応して、東洋・西洋の宗教思想やその歴史を幅広く多角的に学べるよう構成されています。授業では、宗教学の方法論、宗教哲学、宗教(仏教・キリスト教など)思想、サンスクリット文法・原典講読、チベット語、仏教と西洋哲学の比較研究、神秘思想、世俗化、他者理解などが取り上げられています。

先輩たちの卒業論文

- ・中世キリスト教演劇の世界
-その象徴的空間及びキリスト教的時間観念について-
- ・ギリシア思想と仏教思想の対話
-『ミリンダ王の問い』を中心として-
- ・ポロブドゥールのコスモロジー
- ・アウグスティヌス哲学における知識の役割
- ・古代インドの死者の神・ヤマの研究
- ・ベルジャーエフの宗教哲学における《新しい精神》の探求と展開
- ・古代日本の他界観-ヨミの国試論-
- ・後期西田哲学における「自己論」
-「歴史的身体的自己」の自覚-

コースの声



卒業生 山田 庄太郎

「宗教」とは何か。この問いに答えることは容易ではありません。宗教という概念は自明なもののように思えますが、その内実について語ろうとすると非常に困難であることに気づかれます。今日、諸宗教間の対立の問題や、他者理解における宗教の重要性について語られることが多いですが、話題の中心にある筈の「宗教」というものについて一体我々はどれ程のことを知っているのでしょうか。

しかし恐らく次のことは確かであるでしょう。それは宗教が人間の存在の根幹に関わるものであり、またそのような人間によって構成される社会にとっても切り離しがたい重要なものであるということです。宗教は個人の内面において、また歴史の様々な局面で、大きな役割を果たしてきました。宗教学は宗教を研究の対象としますが、それはまた人間存在の本質を問い尋ねることに他なりません。

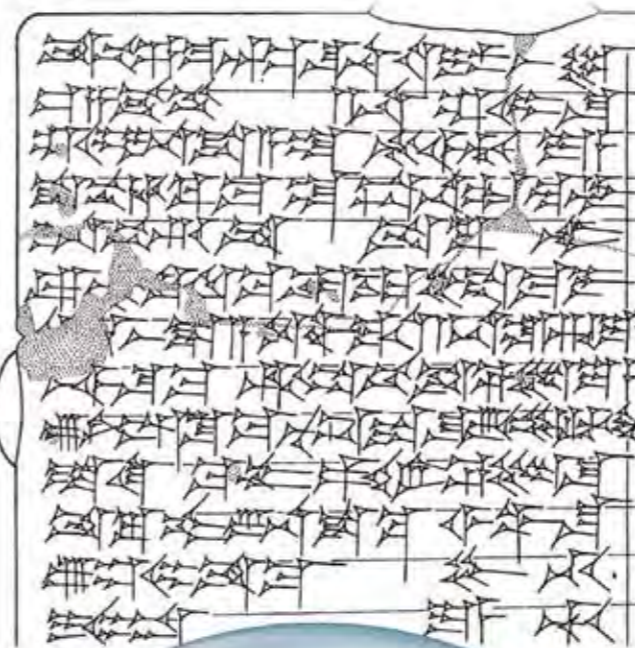
宗教学という学問を通して、皆さんも人間の本質を問い尋ねる旅への一歩を踏み出してみませんか。

(本学大学院人文社会科学研究所在学)

史学 主専攻 History

- 日本史コース ■ 東洋史コース ■ 西洋史コース ■ 歴史地理学コース

▼古代メソポタミアの楔形文字



◀九十九里浜の景観

歴史学を学ぶということ

—私たちは、現在、どこにいるのか—

歴史学が扱うもの、それは所蔵された古文書、続々と発掘される遺物や遺跡だけではなく、絵画や文学、口承、土地景観などのあらゆる「時」を刻んだ記録や記憶に及びます。ただし、これらをたんなる知識として身につけることをめざすものではないのです。また、そこから読み出すものは、ifの世界でも、「現在」の肯定でもありません。

歴史学がめざすのは「昔の人のみた世界とはどのようなものだったのだろうか」「人間はどうしてこのような社会を作り上げてきたのか」という人間の可能性を探り出すことなのです。しかし、人間が主観としてもった空間と時間に対する認識は、客観的に存在した空間や流れる時間という実体とは異なっています。私たちは、歴史学を通じて事実と真実との「あいだ」(それは真実か)だけでなく、事実と「認識」(それはどのように捉えられていたのか)の、そして「認識」と「記憶」(それはどのように伝えられたのか)の「あいだ」にも踏み込むことによって、はじめて人間の可能性と「現在」とを「時」のなかに捉えることができるのです。

(浪川健治)



◀『満洲実録』



▲近世の村絵図

史学 主専攻 History

日本史コース

授業科目

- 日本史概説
- 日本史演習
- 日本史史料学
- 日本史特講
- 日本史実習
- 日本史研究



上:日本史実習 滋賀・木之本
下:原書による日本史史料学

歴史学は、そして、日本史学は実学です!!

教授[日本古代史・宗教史] 根本 誠二

近年、学問の世界でも効率主義・社会還元などの名のもとに諸々の弁別(仕分けとも)が行われています。理科系・文科系を問わず、例えば研究費や人員の配分などをめぐって。そうした際に必ず「噴出」してくる語句が実学と虚学です。はたして文科系、中でも歴史学はどちらに属するのでしょうか。もちろんこうした区別は、単純に「世間に役にたつ、たたない」ということでなりたっているとは思いません。しかし、一般的に歴史学は虚学であるとのレッテルをはられています。これについては、「虚学あつての、実学でしょう」という喧(つぶや)きをもって対峙したいのです。

歴史学として、日本史を学ぶということは、古代史なり、中世史・近世史、さらには近・現代史のいずれであっても、私たち自身が、日々、歴史を作りつつ過去とかかかっているという自覚のもとに、これからの私たちの自立的な生き方を読み解く材料を得ることだと思えます。つまり「生きる」という人間にとって最も根源的な部分への真摯な問いかけを行うのが、歴史学ということなのです。人間は、どのように生きるべきかを問うことです。これは、虚学ではなく、実学であると思えます。そして、それを同時代の人々に語り続けることも大切な「使命」として、私たちに課せられています。何よりも歴史学を学ぶということは、単に、先人が書き記した書物や膨大な史資料に囲まれて学び続けるだけではなく、「時と場を選ぶことなく」それをまもりつづけてきたより多くの人々と語り合うことも大切だということです。

根本 誠二 (日本古代史・宗教史)

浪川 健治 (日本近世社会史・北方史)

中野目 徹 (日本近代思想史・史料学)

日本史概説はどんな授業?

日本史概説では日本の古代～現代についての通史的展望を試みます。日本史概説の履修者は、(1)日本史専攻を志望する者、(2)その他の史学、考古学・民俗学コースで基礎科目として履修する者、(3)その他、日本の歴史への全般的な関心から履修しようとする者、と多様であるため、近年の研究動向を踏まえた日本史像の提示とともに、これから日本史の研究をはじめようとする人たちへの研究入門の役割も担っています。

先輩たちの卒業論文

- ・律令制下の「承家」と嫡子
- ・平安貴族と室礼
- ・幕末の情報収集活動と絵師
- ・「南総里見八犬伝」の出版とその意義
- ・「御興方格式」にみる天明期の仙台藩「御家風」
- ・加藤弘之の国家主義思想
- ・明治立憲制の運用と平田東助
- ・大正教養主義の研究
- ・ロンドン軍縮会議をめぐる軍産関係

コースの声



3年 根本みなみ

皆さん、「日本史」と言うときのどのようなイメージを持ちますか? 年号や人物名を暗記しなくてはならない面倒な科目? 本をたくさん読まなくてはならない大変な科目? 確かに中学・高校までの「日本史」はそうしたイメージが強いかもしれませんが、大学での「日本史」はそれだけではありません。

日本史コースでは、概説・史料学・特講・実習・演習という授業があります。これらの授業は中学・高校のようにただ「何年に誰が何という事件を起こした」という事実を暗記するのではなく、どのような時代背景の中でどのような出来事が起き、その結果がどのようにその後の時代に反映されていくのかということを細かく学びます。最初はただ暗記するだけだった高校までの授業との違いに驚くかもしれません。でも、より詳細な時代背景まで学ぶことでそれまでは見えなかった部分や他の出来事との繋がりが見えてくると、歴史に対し新たな興味を持つことが出来ます。

日本史コースでは二年生から演習に参加することになります。ここでは、学生が与えられたテーマについて調べて自分の意見を発表し、それについて他の学生と討論を行います。ただ本を読んで得た知識ではなく、自分なりの考えをまとめ、発信することは社会のなかでも必要な力です。討論を通して新たな興味を得ることもあります。演習はただ自分の意見を発表するだけではなく、新しい刺激を得て自分自身を深める場でもあるのです。

また、日本史の大きな魅力の一つは色々な場所を訪れる授業があるということです! 日本史コースでは日帰りで行う巡見や二泊三日程度の実習など、大学を出る授業が多くあります。どのような出来事を研究する場合でも、ただ図書館で本を読むよりも、実際に現地を訪れて自分の目で色々なものを見るほうがよりリアルに歴史を感じることが出来ます。

このように、大学での日本史の勉強は一人で部屋の中で本を読むだけではありません! 色々な場所に行き色々な物を実際に見て、色々な人と意見を交換することが、もっとも大切なことなのです。

史学 主専攻 History

東洋史コース

授業科目

- 中国史概説・アジア史概説
- 中国史文献学・アジア史文献学
- 中国史特講・アジア史特講
- 中国史・アジア史基礎演習
- 中国史演習・アジア史演習

外国史研究としての東洋史学

教授[東洋史学] 楠木 賢道

21世紀は、「アジアの時代」といわれています。我々は、アジアの一員として行動し、隣人に受け入れてもらうことが、求められています。このとき重要なことが2点あります。第一に先入観を排除し、諸国・諸民族がそれぞれに持つ豊かな歴史的内実を根本から理解することです。このためには、アジアの諸国・諸民族を客体化し、原典史料を使って、科学の目で、それぞれの歴史を見つめる必要があります。第二に、逆説的ではありますが、歴史を研究しようとする自分が、学校教育や社会との関わりのなかで、固有の歴史観を持っていると認識することです。人は、自分がすでに持っている歴史観から完全に解放されて、自由に歴史を理解することはできません。むしろ、自分の歴史認識にはこのような限界があり、自分の歴史観が絶対的なものではないことを自覚することが大切です。この2点に基づく自己と他者の正しい認識なくして、隣人との相互理解・共生は成立しません。筑波大学の東洋史はこのようなことをめざした、ちょっと骨太なコースです。

東洋史コースは、中国史とアジア史の2つのサブコースに分かれています。いずれも現代との関わりのなかでアジアの歴史を理解するという観点から、中国史サブコースでは14世紀以降、近現代までの歴史に重点をおいています。アジア史サブコースではユーラシア東半の内陸アジアと東アジアの歴史を学べるようになっています。若い諸君が、新しい問題意識と充実したカリキュラム・史料により、東洋史の研究に挑まれることを期待します。

楠木 賢道 (内陸アジア史)

上田 裕之 (中国経済・財政史)



上:第二次アヘン戦争で廃墟となった北京の円明園
下:アジアからの留学生との交流

コースの声



卒業生 岩田 啓介

「東洋史」と聞いて、皆さんは何を思い浮かべますか? 入学当初の私は、恥ずかしながら「東洋史」といったら漢文! と思っていました。皆さんも、多様なイメージを持っているでしょうが、筑波大学の東洋史コースでは、そのようなイメージとは異なった東洋史を学べます。

筑波大学の東洋史コースの第一の特徴は、地域的な広がりです。満洲・中国・モンゴル・チベットなど広くカバーしています。更に満洲語など、それぞれの研究に必要な言語を学び一次史料を利用するという特質があります。たとえば、私の専攻している清朝時代のモンゴル史研究では、漢文史料だけでなく満洲語、チベット語、モンゴル語などの史料も利用します。皆さんの想像する「東洋史」とは全く異なった東洋史が浮かび上がってくるでしょう。これを聞いて、「難しそうな言語を学ばなきゃいけないのか……」と意気消沈してしまうかもしれません。私も当初はそうでした。しかし、どの言語も1・2年次から授業で教わると、一次史料を駆使して卒業論文を執筆できるようになります。何よりも、その時代を生きた書き手の「生の声」が反映された一次史料を見ていると、気付いたときには、かなり読めるようになっているものです。そして、筑波大学は多くの史料を利用できる環境が整っており、先生方も熱心にご指導くださいます。まさに、やる気次第でどんどん可能性が広がっていきます。

皆さんの既成観念の「東洋史」像を一新して、筑波大学で東洋史を学びませんか?

中国史概説はどんな授業?

四千年とも五千年ともいわれる中国の歴史ですが、それは、「中国」という決まった枠組みのなかで王朝交替が繰り返されるという単調な物語ではなく、黄河・長江の流域を主な舞台として、さまざまな民族がたがいに影響を与えあい、形を変え、数千年の時間をかけて今の中国を形づくっていったという、非常にダイナミックな歴史です。中国史概説では、そのような中国史を古代から近代にかけて見渡し、中国史の大枠を理解することを目指します。

先輩たちの卒業論文

- ・モンゴル帝国期におけるウイグル官僚の役割
- ・康熙朝における清・朝鮮関係
- ・ラサン=ハン即位前後の青海ホシュート部 - 清朝とジュン=ガル部の狭間で -
- ・満洲国国立中央博物館と満洲国の建国理念

西洋史コース

授業科目

- オリент史概説 ■ オリент史文献学 ■ オリент史演習 ■ ヨーロッパ史概説 ■ ヨーロッパ史文献学
- ヨーロッパ史演習 ■ ヘブル語・アッカド語初級 ■ ギリシア語初級 ■ ラテン語初級



アッシリアの古代都市カルフの守護神像 (大英博物館所蔵)

歴史研究の楽しみ

教授〔西洋史学〕山田 重郎(しげお)

歴史研究は、昔の人々が残したさまざまな史料を見つめ、当時の世界を体験しようとすることに始まります。そして「過去」を見つめることで、私たちが生きているこの時代と社会に対して賢明な意見をもつ「歴史感覚」のある一個人として社会に参加するのが歴史学徒の究極の目標です。

西洋史コースでは、西洋の現代語、ラテン語、ギリシア語、ヘブル語などの古典語、楔形文字アッカド語のような古代語を時間をかけて学び、本物の「西洋」の声に耳を傾けようと努めます。既成の「歴史」を記憶するのでは飽き足らない、たとえ手間がかかってもじっくり構えて研究してみたい、という諸君を歓迎します。



山田 重郎 (アッシリア帝国史・旧約聖書学)

古代オリент世界空前の帝国として君臨したアッシリアの国家組織と領土的発展を、楔形文字史料を網羅的・系統的に研究することにより、明らかにすることが当面の研究テーマです。



井上 文則 (ローマ帝国史)

私の研究テーマは、ローマ帝国史です。特に、これまでは単に皇帝時代の政治や軍事のことなどを研究してきました。最近、同じ時代に大流行したミトラス教にも関心をもっています。



柴田 大輔 (古代メソポタミア宗教史)

古代メソポタミアにおける宗教文化について研究しています。主史料となる楔形文字文書の精密な読解を研究の基礎としていますが、一方で、宗教学や人類学、あるいは他の時代・地域に関する文化史・社会史研究の問題意識も参考にしていきます。

西洋史を学ぶために

本コースには、「オリент史」と「ヨーロッパ・アメリカ史」の二つのサブコースがあり、それぞれのコースに個別のカリキュラムがあります。オリент史コースでは、メソポタミアを中心とした古代オリент世界を研究し、ヨーロッパ・アメリカ史コースでは、西欧の文化史のながれを幅広く把握しつつ、テーマを定めてより深く研究します。オリент史研究にはヘブル語・アッカド語の習得が、ヨーロッパ・アメリカ史研究にはラテン語あるいはギリシア語の習得が必修として求められます。(なお、より専門的なアメリカ研究は、比較文化学類で開設されています。)

先輩たちの卒業論文

- ・バビロンにおけるアキトウ祭についての考察
- ・古代メソポタミアにおける「霊の手」による病苦とその治療
- ・ヘロドトスの東北スキタイ地誌
- ・カエサル C. Julius Caesar の政治的構想についての考察
- ・アルマダ海戦と火砲
- ・イギリスによるインド支配開始期の様相

コースの声



4年 関戸 雄士

ひとくちに西洋史といってもその研究対象は様々です。高校での世界史のように歴史上の大きな出来事について学ぶだけではありません。各時代における政治や文化などもっと細かく学んでいきます。一年次にはいくつかの概説科目を受けてその中から自分の興味があるテーマを探していくことになるでしょう。三年次からは各コースに分かれて、自分の決めたテーマについてより専門的な研究を行っていきます。

私はオリентコースで古代オリントの宗教に関して研究していますが、オリент史ではその他にも政治であったり、商業であったり、神話であったり、様々なテーマを見つけることができます。ヨーロッパ・アメリカ史も同様により深いテーマを定めることになるでしょう。簡単ではありませんが、先生方の助けを借りながら、自分が興味を持ったことに対してとことんまで取り組んでいきます。また西洋史ですら専門的な研究を進めるために欧米の学者たちが書いた研究書を読む必要があります。そのため英語のほかドイツ語やフランス語などの言語が必須になります。その他にも文書資料を読むためにラテン語やアッカド語といった特別な言語も学んでいきます。大変そうに感じるでしょうが、一・二年次から少しずつ慣れていけば次第に読めるようになります。なにより、粘土板に記された古代の人々の言葉や、偉大な王様が書いた手紙など、数百年、数千年前の文書を自分の手で読み解いていくのです。読めるようになった時には大きな達成感を得られるでしょう。筑波大学の図書館には専門の研究書や資料が豊富に所蔵されているので、勉強するよい環境が整っています。きっと皆さんも、自分の関心のあるテーマを見つけて満足いくまで勉強ができると思います。

歴史地理学コース

授業科目

- 歴史地理学概説 ■ 日本歴史地理学講義 ■ アジア歴史地理学講義 ■ 欧米歴史地理学講義 ■ 歴史地理学特講
- 歴史地理学文献演習 ■ 歴史地理学演習 ■ 歴史地理学実習

歴史地理学の特性

教授〔歴史地理学〕中西 僚太郎

歴史地理学は、学問の本質論や方法論からは地理学の一分野に位置づけられますが、過去の人間集団の営みを明らかにするという点では歴史学に近い内容をもつ、地理学と歴史学の境界領域の学問です。歴史地理学では、地域や空間、景観、環境といった地理学で発達してきた基礎概念をふまえて、過去の人間集団が地表面をいかに組織し、生きてきたかを追究します。取り扱うテーマは、都市や村落などの居住空間に関することから、人口、産業、交通などの社会経済的な事象、ならびに宗教、民俗文化など多岐に渡ります。対象とする地域は、日本のみならず、欧米、アジア諸地域に及び、時代は古代から近現代までを扱います。その意味では非常に幅広い分野といえます。研究方法としては、古文書、古記録などの文献資料を活用するとともに、野外での景観観察や聞き取り調査も重視します。特定の地域や時代にとらわれず、歴史学とは違った観点から過去の人間集団の営みを学んでみたい人は、歴史地理学の世界に足を踏み入れてみませんか。

【メッセージ】

歴史地理学の研究は、室内とフィールドを往復するなかで行われます。歴史地理学を学ぶことによって、デスクワークとフィールドワークの両方の面白さを味わって欲しいと思っています。



上: 歴史地理学実習-南房総市-
下: 歴史地理学実習-館山市-

コースの声



3年 横山 峻

歴史地理学という学問分野は初めて聞く方がほとんどではないでしょうか？ 興味はあっても名前が漠然としていて、どういった研究をしているのかがよく分からないという方もいるかもしれません。私もその一人でした。このように歴史地理学に興味はあってもどういった学問なのかよく分からないという方は歴史地理学実習に参加してみてください。フィールドに入って歩き回り、景観観察をしたり古文書や古地図を解読したり地元の方々に話を伺ったり…。こうしたフィールドワークは歴史地理学の研究をする上で欠かせない基礎的なことです。実習では先生や大学院生の指導や協力を得ながらフィールドワークの方法を体験的に学ぶことができます。実習に参加すれば座学にとどまらない歴史地理学の面白さを体感できます。また、実習の経験は卒業研究のテーマを探す上でも大いに役立ちます。

先輩方の卒業研究は様々なテーマ・時代・地域で行われています。例えば、近世の古地図や古文書を解読してその当時の景観や生活を復元するという研究もあれば、地元の方々への聞き取り調査などを通して地域の産業構造の変化を明らかにするという研究もあります。歴史地理学は取り扱う範囲が非常に広い学問なので得ることができる知識も幅広く、皆さんの興味に沿うテーマがきっと見つかるはずです。筑波大学に入学して歴史地理学を学んでみませんか。

歴史地理学はどんな授業？

歴史地理学概説では、歴史地理学の基本的な見方・考え方を、古代から近代までの主として日本の事例を題材にして解説します。世界各地の歴史地理についての詳しい内容は、各地域の歴史地理学講義で勉強することになります。ほかに、歴史地理学の各専門分野のこれまでの成果や方法論を学ぶ特講、論文講読を通して研究手法を勉強する演習、フィールドワークの方法を習得する実習などが用意されています。

先輩たちの卒業論文

- ・明治期の北上川水運と鉄道による物資輸送
- ・交通体系の変化からみた横浜市中心商業地域の変遷
- ・筑波鉄道廃線による集落の変化 - つくば市小田を事例として -
- ・匠瑤市八日市場の八重垣神社祇園祭
- ・聖フランシスコ・ザビエル渡来四百年祭と新都市建設事業
- ・山形県村山地方における果樹栽培の展開

考古学・民俗学専攻 Archaeology & Folklore

■先史学・考古学コース ■民俗学・文化人類学コース

フィールドへの誘い

民俗学 中野 泰

考古学・民俗学専攻で学べる内容を一言で表せば、Anthropologyという言葉が適切です。「人類学」と訳されるこの内容は、人類の進化、多様性、および一性性の考究だと言えます。いずれもたいへん大きな研究テーマですが、端的に言えば、人間社会の総合的理解をめざす分野といえるでしょう。この専攻では、特に、先史学、考古学、民俗学、文化人類学などの領域からその内容へアプローチできます。

4つの領域に共通する特徴の1つは、「異文化」の生活の場に直接足を運んで研究を進める手法、すなわち、「フィールドワーク」を行うことです。目、耳、口や手などによる知覚や経験、五感をも総動員して野外調査を実施するのです。2つ目の特徴は、フィールドワークという方法に基づき、「生活文化の総合的理解」を深める点にあります。現地の人々との会話、彼らの生活のつづきな観察、遺物や遺跡の発掘や計測を通じ、過去と現在の人間社会の多様性を考察してゆくのです。

専攻のスタッフは、西アジアから日本に至るフィールドを舞台に、先史時代の牧畜社会や生業技術、都市の起源や形成、インドの文化人類学、日本の民俗、台湾の民間信仰、韓国の生業経済や村落社会などの研究を進めています。「最新の研究動向」に照準をあてており、文献をクリティークしていくことも重要な研究プロセスとなっています。

この専攻で学びたい学生へ。フィールドワーカーはジェネラリストです。バイタリティを養い、環境、衣食住、社会形態から観念的世界まで、幅広い知識を身につけましょう。苦勞もありますが、他では得がたい交流や特有の喜びもたくさんあります！初めてのフィールドで感じる眩暈が、いずれ、「人類社会の多様さ」「生活文化の奥深さ」など、尽きることのない「発見」と「洞察」へとつながります。さあ、フィールドへ行きましょう！！



漁具を説明する漁師(山口県萩市)



コーチンのパサン通り(インド・ケララ)



伝統的なカレー(インド・ケララ)



日本の伝統芸能一王の舞

考古学・民俗学専攻 Archaeology & Folklore

先史学・考古学コース

授業科目

- 先史学概説・考古学概説 ■ 先史学方法論・考古学方法論 ■ 物質文化研究法 ■ 先史学特講・考古学特講
- 先史学演習・考古学演習 ■ 先史学実習・考古学実習

先史学・考古学とは？

教授【西アジア考古学】常木 晃

考古学=Archaeologyは、発掘などで得られる物質文化資料に基づいて人間社会の営みと歴史を知ろうとする学問です。それに対して、先史学は日本ではそれほど一般的に知られてはいません。先史学=Prehistoryという言葉は、主にギリシア・ローマの古典古代を扱っていた考古学に対して、それ以前の自分たちの社会を研究するという意味で、北・西ヨーロッパで始まりました。現在では大まかに言って、文明社会を主な対象にするのが考古学、それ以前の社会を主な対象にするのが先史学という理解が主流でしょうか。

現在日本では年間5000件にもぼる発掘調査が行われ、膨大な人と金が注ぎ込まれています。新たな発見が新聞を賑わせ、考古学はわが世の春を謳歌しているように見えます。しかし翻ってこれを考えると、毎年膨大な遺跡が破壊され、歴史を再構成する貴重な物質文化資料が失われているのです。遺跡は一度発掘してしまえば、発掘という研究機会を二度と再現することはできないのです。本コースでは、厳密な作業と斬新な発想に基づいて、たった一度だけの発掘の機会を歴史の再構成に生かせるような研究を行える、そんな学生を育てたいと願っています。



三宅 裕 (西アジア先史学)

大学での学びの楽しさは、自分で問題を見つけ、それを追求することにあると思います。創造する喜びを是非味わってみてください。



谷口 陽子 (考古科学・保存科学)

ここには誠実にモノに対峙する時間と場があり、そしてそれを咀嚼し栄養にすることができると思います。広く深く思索しつつも楽しくかけがえのない時間を過ごしてください。



上:シリア調査の朝食
下:住居址を発掘する実習生たち

コースの声



4年 鈴木 志野

考古学・先史学とはなんなのでしょうか。

きっと皆さんは「遺跡」「発掘」「土器」といったような言葉をイメージされるかと思いますが、「遺跡で土器や遺物を発掘する」のが考古学・先史学の目的ではありません。

考古学・先史学は遺構や遺跡、遺物を実際に自分の目で見て、触って、作って、考えて、そこから人間のナマの営みを再現することができる手段であり、これが考古学・先史学の一番の魅力だと言えます。これをもとに、人々の歴史や生活をそこに残る情報から復元し、解釈していくとする学問なのです。

基礎的な授業はもちろんのこと、遺跡や遺物を扱う実習も充実しており、長期休暇には先生や先輩・後輩連れだって国内外の遺跡の発掘や測量に出かけることもあります。

このように教室での授業だけでなく、実際に自分で発掘や測量を経験できる機会がたくさんあるのです。こうしたフィールドワークの楽しさを体験してしまえばその楽しさを忘れることはそうできないでしょう。

是非、私たちと一緒にフィールドに出て考古学・先史学を学んでみませんか？

先史学概説はどんな授業？

先史学の基本的な方法について解説し、人類史への理解を深めます。

1. 人類の起源と進化
2. 古環境の復元
3. 狩猟採集社会の食
4. 人体から食生活を復元する

先輩たちの卒業論文

- ・茨城県域における中世方形竪穴建物の機能論
- ・インダス式印章とインダス社会との相関関係
- ・黄河中流域における集落の変遷
-初期銅器製作技術伝播の背景を探る-
- ・駿府城石垣普請の背景
- ・人骨からみた南西諸島の旧石器時代
-港川人を中心に-
- ・銅鐸の鈕における文様の割付方法
- ・金属製鏃の変遷とその背景に関する研究
- ・キジル石窟の成立と展開に関する研究
-石窟構造、壁画技法、材料の視点から-
- ・「世界遺産」の「顕著な普遍的価値」に関する考察
-登録を目指す平泉の文化遺産の事例から-
- ・GISの考古学への利用について
- ・中世陶磁器から見る北方社会
- ・長崎における石材業の考古学的研究
-石量を中心として-
- ・戦争遺跡の調査・保存・活用
-掩体壕の保存活動の事例から-
- ・日本古代における考古学から見た人口研究
-常陸南部を中心として-

民俗学・文化人類学コース

授業科目

- 民俗学概説 ■ 民俗学演習 ■ 文化人類学概説 ■ 文化人類学演習 ■ 民俗学・文化人類学実習
- 文化人類学特講 ■ 民俗学特講 ■ 民俗史料学



伊豆半島の祭礼(実習)風景

民俗学・文化人類学の学び方

教授[民俗学] 古家 信平

民俗学は、柳田國男以来の研究の蓄積の上に成り立っており、農山漁村に限らず都市化したところも視野に入れて、現代のさまざまな問題を取り上げて行きます。文化人類学とともに、価値観を異にする行動様式を、生活文化の中で理解するため、フィールドワークを重視し、そこで得られた情報から一次資料を整備しながら、思索を深めていきます。フィールドワークの技法を身につけるために、農山漁村で行う5日間程度の実習に少なくとも2回参加することになっており、その体験から自分自身で問題を発見し、作業仮説を打ち立てて、研究の第一歩を踏みしめることになるのです。日本文化を相対化するための文化人類学の理論や民族誌を学び、民俗史料学で文書史料から時間的な深みが検討できるように、他大学にはない指導体制を確立しています。



古家 信平 (民俗学「日本および台湾の民俗宗教の比較研究」)
沖縄から台湾にかけて、民家を見たり、祭りに加わったりしながら歩き回っています。



内山田 康 (人類学「南アジア研究、民主主義の人類学的研究」)
自分を理解の道具としてフィールドに入り、そこを離れて考察し、再びフィールドで枠組みを問い返し…



中野 泰 (民俗学「日本および東アジアの村落社会・生業研究」)
異なる民俗社会での生活経験。名状し難いものですが、その魅力を伝えてゆきたい。



ハンセン サイモン ポール (人類学「動物と人間とテクノロジー」)
If we are to develop a civil society what is the best road to take? This is the most important question we need to ask.



武井 基晃 (民俗学「日本(沖縄)および台湾の社会・祖先祭祀」)
自分にとっての当たり前。他者にとっての当たり前。生活の中の当たり前を問い直す学問です。

民俗学・文化人類学はどんな授業?

民俗学と文化人類学の概説では、それぞれの学問の固有の歴史や理論を概観します。両方ともフィールドワークから生まれてきた学問で、フィールドワークの成果を整理記述したものが民俗誌(民族誌)です。学生の実習成果は報告書として出版されています。

先輩たちの卒業論文

- ・変容する「にほんのうた」-民謡の現在-
- ・現代社会における俗信再考 -俗信をめぐる言説の分析を通して-
- ・新興住宅地における盆の現在
- ・語り継がれる「満州移民」-地域の中で生まれる歴史-
- ・真和誠心会の祭り
- ・藤崎八幡宮秋季例大祭における同窓組織と奉納
- ・転入者と地域の伝統行事 -本部町備瀬の住民とヨソモノの境界-
- ・盆栽にみる伝統と現代
- ・埼玉県さいたま市北区盆栽町の事例から
- ・屋久島の獣害対策と猟師

コースの声



民俗学実習風景(静岡県由比)

4年 千田 沙織

民俗学は、脈々と続いてきた暮らしや文化をさまざまな側面から研究する学問です。フィールドワーク(現地調査)では現在その地域に生きる人々の生の声を聞くわけですから、新鮮で貴重な話がいくつも出てきます。それを記録し、後世に残すという重大な責任も民俗学を専攻する学生は背負っているといえます。

実習では、参加者の調査内容は多岐にわたり、思い思いに自分の興味のあることをテーマにして調査に臨みます。私は去年の実習(2010年静岡県)では、自治会組織と年中行事をテーマに調査を行いました。地域の方を訪ねて聞き取り調査を行ううち、その地域が体験した多様な事-災害や市町村合併、年中行事-が鮮明に記憶されていることに驚かされ、一人ひとりが積み重ねてきた人生に感銘を受けることも多く、爽りある調査となりました。実習で得たフィールドワークの経験を基に、3年生から卒業論文に取りかかります。私は茨城県稲敷市で毎年行われる江戸崎祇園祭を対象とし、「祇園祭に関わる女性」というテーマで卒業論文を作成しています。これまでの祭礼研究の多くは男性に焦点を当てて祭礼を描いたものでした。江戸崎祇園祭ももちろん男性中心に祭礼が展開されますが、「吹き出しを行う女性」や「山車を引く若い女性」、「お囃子を演奏する子供(女兒を含む)」といった多くの女性たちが祭礼に参加しています。彼女たちから見た祇園祭と、女性がどのように現在の祇園祭を支えているのかを見出していけたらと考えています。自分の身の回りを取り巻く人々の生活をじっくりと考えてみたい-そんな人は、ぜひ民俗学・文化人類学コースを選んでください。

言語学 主専攻 Linguistics

- 一般言語学コース ■ 応用言語学コース ■ 日本語学コース ■ 中国語学コース ■ 英語学コース ■ 仏語学コース
- 独語学コース ■ 露語学コース

図書館で本物の資料と向き合う

日本有数の規模を持つ本学図書館の所蔵資料の中には、言語研究にとって貴重な資料が数多くあります。本物の資料と向き合い、人間と言語の歴史を学ぶことができるのも言語学主専攻の特色です。



『大智度論第七十巻』天平6(734)年書写、所蔵する最古の資料。

情報化社会における言語研究

日本語研究の成果は、国語教科書や国語辞書などのほか、日本語変換や自動翻訳にも活用されています。辞書一つをとっても、電子辞書の狭い画面にどのような情報を示すか、多様化するユーザーの要求にどこまで応えるかなど、辞書内容の洗練やシステム化が要求されています。情報化社会において、言語研究の果たす役割は、ますます大きくなっているのです。



ことばの教え方を研究して教員になる

言語学主専攻では、ことばの教育についての研究を行うこともできます。豊富な機材・経験豊かな教員にサポートされた実験・調査、積極的な先輩や仲間とのトレーニング等、ことばを使った具体的な実践的研究・研鑽を積むことができます。

当専攻には国語・英語・ドイツ語・フランス語・中国語の教員免許を取得するカリキュラムがあるのはもちろん、全国に広がる人的ネットワークもあり、教員を志望する人には非常に有利な環境です。



語学を活かして世界で活躍する

言語学主専攻の学生は、筑波大学が持つ世界的な教育・研究ネットワークを活用し、様々な外国語の実践的運用能力を身につけることができます。アジア、ヨーロッパ、アメリカ、オセアニアなどに広がる多くの学術交流協定校で、交換留学生として3~12カ月間学ぶことができます。留学で獲得した高い語学能力を生かし、将来、国際ビジネスを展開する企業や国際支援・交流活動を行う政府系組織、NGOなどで即戦力として働ける力を養います。



一般言語学コース

授業科目

- 音声学概論 ■ 言語学概論 ■ 歴史言語学 ■ 記述言語学 ■ 一般言語学演習 ■ 一般言語学特講
- 個別言語(ギリシャ語、ヘブル語、アッカド語など)



実証的な言語研究を徹底する

教授 [セム語学・歴史言語学・実験言語学] 池田 潤

言語は、人類にとって日常生活に欠くことのできない重要な営みであるにもかかわらず、普段は単に手段としてしか受けとめられていません。しかし、幼児はどうして言葉を喋るようになるのか? 音声や文字、あるいはことばの意味は脳の中でどのように認知されているか? ことばは時間とともにどう変化するのか?...と探求すべき問題は山積しています。

一般言語学コースは、他のコースでは扱わない言語を通して、あるいは対象言語を特定せずに、広く人類一般の言語現象を探求するコースです。ことばの素材としての音声や文字にこだわり、事象関連電位を用いた脳波実験も採り入れながら、実証的な言語研究を徹底するのが特徴です。

[メッセージ]

私はセム系の言語、中でもヘブル語(旧約聖書の原語)とアッカド語(古代メソポタミアを中心に楔形文字で書かれた言語)を研究しています。古代の言語は限られた文献を通して知ることしかできません。そのうえ、正確な発音も分かりませんし、話し手にあれこれ質問することもできません。そのような言語の姿を描き出す方法を日夜探求し、その実践につとめています。



上: 楔形文字
下: 旧約聖書の写本

言語学概論はどんな授業?

- 世界にはいくつの言語があるのか。
 - それらはどれほど多様なのか。
 - なぜこんなに多くの言語があるのか。
 - 言語が異なっても人は分かり合えるのか。
 - そもそも言語とはいったい何なのか。
- 言語学概論ではこうした素朴な疑問を掘り下げるとともに、どんな言語でも分析できる知識と技術を身に付けます。

先輩たちの卒業論文

- ・モンゴル語のアクセントに関する実験音声学的考察
- ・アイルランド語とヘブライ語の言語復興運動に関する一考察
- ・小倉百人一首競技かるたにおける決まり字の認知について -音響音声学的アプローチ-
- ・書字方向の類型論的研究
- ・現代ヘブライ語のアスペクトについて -日本語との対照-
- ・現代アラム語における定冠詞の発達について

コースの声



卒業生 早川 友里恵

「一般言語学」が研究対象とするのは文字通り言語一般。だから開設科目一覧にはヘブライ語やアッカド語など、ちょっと珍しい言語名が並んでいます。

大学に来るまでに英語以外の言語を勉強する機会というのはあまり無いと思います。第二外国語でフランス語やドイツ語などの印欧語を学ぶのもいいけれど、もっと違った、今までに聞いたこともないような言語に挑戦してみてもどうでしょう? 全く異なった体系を持つ言語に触れることで、きっと言語に対する視野が広がるはず。

また一般言語学では「～語」という枠にとらわれない多彩な研究ができるのが特徴です。一口に「言語」といっても、文字と音声とは全く異なった性質をもっているもの。例えば書き言葉に文法があるように、私たちが普段話している音声言語にも音声言語にしかない法則、いわば「音法」があります。

文字についても様々な種類があります。例えば日本語は上から下への縦書きと左から右への横書きができますが、世界には右から左へ書く言語、改行せずに折り返して書く言語など、書く方向に限っても多種多様です。

これらの多彩なテーマに対して、音声を音響解析したり脳波実験を行ったりと、そのアプローチもまた多彩です。こんなにバラエティに富んだ研究ができるのは筑波の一般言語学ならではの魅力だと思います。言葉そのものに興味がある人、ちょっと他人と違った言語を学びたい人、ぜひ一般言語学コースでその好奇心を発揮してください。

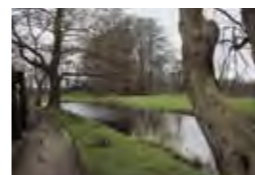
【写真】脳波実験でエレクトロキャップを装着

応用言語学コース

授業科目

- 授業科目紹介 ■ 応用言語学概論 ■ 応用言語学講義 ■ 社会言語学講義/演習 ■ 教育言語学講義/演習/特講
- 外書講読 ■ 文章論講義/演習 ■ 対照言語学演習

従来の学問領域の壁を飛び越えた、多岐にわたる言語研究 教授 [文章論研究] 塩澤 和子



応言の小道を探索しよう

応用言語学は、個人と社会のレベルで、言語にかかわる諸問題を多角的・実証的に解決することを目的とする学問です。本応用言語学コースでは、英語教育にかかわるさまざまな事象を取り扱う教育言語学、社会と言語の関係を研究する社会言語学、文章や会話の仕組みを研究する文章・文体論を主要な領域にしています。いろいろな学校に行つて各種実験をしたり、実際の談話を録音・書きおこして詳細に分析したり、文献からさまざまな文体を比較したりと、その手法はさまざま、紙からデジタル画像まで幅広いデータを取り扱います。



塩澤 和子 (文章論研究)

文章の仕組みを考えてみよう。



卯城 祐司 (英文読解研究および教授法全般)

英文読解プロセスのダイナミズムを学びましょう。



磐崎 弘貞 (語彙論・辞書学・コーパス分析)

語彙の諸相をパソコンで分析しよう。



久保田 章 (教材論・第2言語習得論)

身近な教材をL2習得から分析しよう。



高木 智世 (社会言語学・ディスコース研究・会話分析)

社会と言語の関係についてじっくり考えましょう。



平井 明代 (教授法・評価法研究)

受容能力から発信能力への教授法・評価方法について研究しよう。



小野 雄一 (教育学、およびその英語教育への応用に関する研究)

進化するメディアをどのように自分の教育現場や指導論に活かすか探究しよう。

コースの声



卒業生 木村 雪乃

大学に入学した時は漠然と「言語学を勉強したい」と考えていた私ですが、応用言語学に関する授業を受けて、「こんなに魅力的な学問があったのか!」と衝撃を受けたことを今でも覚えています。普段当たり前のように用いている言語に対して様々な視点・方法からアプローチする応用言語学は、私にとっては新鮮でした。

私の研究テーマは、日本人がどのように英文を読解するのかということでした。論文を読んで研究課題を見つけたり、ゼミや研究会に参加して助言をもらったりして研究を進めました。個性豊かな先生方がそろっていて、親身になって指導して下さります。皆さんも応用言語学の魅力にぜひ触れてみてください。



上: 看板から文化と語彙を観察する
下: 応言の思索の階段を上ってごないか

応用言語学講義はどんな授業?

英語語彙に関わる諸問題を、コーパス言語学・辞書学・英語教育学・統計学の観点から分析していきます。たとえば、「語彙が豊富」とか「語彙力をつける」といった場合、具体的に何をさしているのでしょうか? 自分の英語語彙サイズはどうやったら計れるのでしょうか? 英語教科書や辞書に出てくる「基本語」や「最重要語」はどのように決めるのでしょうか? こうしたことに答を見つけていくのが本授業です。

先輩たちの卒業論文

- ・Effects of topics on writing performance of Japanese high school students
- ・Roles of depth and breadth of vocabulary knowledge in listening comprehension in ESL
- ・The effects of visual aids on EFL reading comprehension
- ・学習者間で行われる相互行為の分析
- ・教室談話における教師の繰り返しの分析
- ・接客会話における開始部と終了部の分析
- ・ラジオの電話相談に見られるジェンダー再構築の過程についての批判的言説分析
- ・日常会話における型不一致型応答の役割

言語学 主専攻 Linguistics

日本語学コース

授業科目

- 日本語学概論 ■ 日本語文法論 ■ 日本語音韻論 ■ 日本語学講読 ■ 日本語学研究 ■ 日本語史
- 日本語学特講 ■ 日本語学演習



日本語についてどれだけ知っていますか？ 教授 [日本語学、文法論] 矢澤 真人

私たちは、当たり前のように、日本語を話したり、読んだりしています。でも、日本語について、実際にどのくらい知っているのでしょうか？ 外国の人に、「女っぽい」と「女らしい」は意味がどう違うのかとか、「京都まで行く／京都に行く／京都へ行く」はどう使い分けるのかなどと聞かれても、なかなか説明することができないでしょう。古文を読んで、昔の日本語は、現在の日本語とずいぶん違うようだと感じていても、それがどのように今の日本語の姿になったのかについては、ほとんど知らないのではないのでしょうか。

日本語学では、万葉集や源氏物語といった昔の文学作品の日本語から、今行われている日常の会話まで、すべての日本語が研究対象になります。どんな音で話されるか、どんなぎりに従って文は作られるのか、どう書かれているのか、語の意味はどう変化しているのかなど、さまざまな方面から考えていきます。なにより、言葉について、ちょっと気にかけてみる、どうしてなのだろうと自分自身で考えてみるといったところから、日本語学が始まります。



那須 昭夫 (理論言語学・音韻論)
言語音の世界には「音の文法」とも呼ぶべき一定の秩序が気づかぬうちに作用しています。その特性を探るのが音韻論です。日本語は普段聞き慣れた言語ですが、だからこそ、その音声の中に興味深い秩序を見出したとき、改めて日本語の実相を識る契機が生まれます。



坪井 美樹 (日本語史)
日本語学演習IIを担当しています。日本語の単語や文法形式が時間の経過にしたがって形と意味を変えていく姿を文献資料の上に追い、なぜ、どのようにしてそういう変化が起こったのかを考えます。



大倉 浩 (日本語史)
今から約500年前、中世から近世の日本語の姿を、いろいろな資料を駆使して追究しています。また、古文の教科書編集にも参加しているので、もしかしたら皆さんが使っている教科書に私の名前があるかもしれません。



橋本 修 (日本語文法論 意味論)
日本語の文法論・意味論を主な研究領域としています(近年は複文を多く扱っています)。今のところ現代日本語を中心に研究していますが、文法の歴史的变化にも大変興味があり、データを集めているところです。



盗人：びょうびょう(犬の鳴き真似)。主人：鳴いたは鳴いたは(笑)。(狂言「盆山」より)



日本語学演習IIIの授業

日本語学講読はどんな授業？

1年次には、日本語についての全般的な知識や考え方を修得する概論と、基礎的な文献の読み方を身につける講読の授業が設定されています。講読は、さまざまな時代やジャンルの文献を読み進めます。今年の1年次の講読は、狂言台本を扱い、中・近世の日本語についての知識を得るとともに、文献をより正確に読む訓練をします。読むだけでなく、現行の狂言を見て、その言葉と文献との比較も行います。

先輩たちの卒業論文

- ・サ行変格活用動詞の活用形に関する研究
- ・日本語の許可・許容表現
- ・現代語の助詞「とか」の研究
- ・栃木方言疑問文のイントネーション
- ・「すごい」の程度用法の研究
- ・企業敬語体系の研究
-衣料品販売企業の敬語使用から-
- ・明治期における文末用法「です」について
- ・接続辞「らしい」の研究

コースの声



卒業生 石塚 直子

私たちは知らず知らず「日本語」という言語を獲得し、言葉には特に不自由なく日常生活を送っているように思われます。しかし、本当にそうなのでしょうか。友達と話している時、テレビを見ている時、メールを打つ時、自分自身や相手の言葉遣いに疑問を持った経験はないでしょうか。

この日本語学コースでは、まず自分が無意識のうちに用いてきた「日本語」という言語を改めて内省するところからスタートします。少し視点をずらして考えてみるだけで次々と疑問が見えてきます。例えば、このようなものが挙げられます。

- ・「じ」と「ぢ」、「づ」と「ず」の発音は同じかどうか。
- ・「爽快感」と言うことはできるが、「さわやか感」と言うことはできるかどうか。
- また、「好きかも…」という表現は、「好き」の婉曲なのか、それとも「好きかもしれない」の省略なのか、といったことまで取り上げると、きりがありません。私たちは、このような例を大学院生や先生方と真剣に議論し、考えを深めています。

その上で、自分で疑問に思った事象に対して、どのようなアプローチをして行けばよいのか、「日本語学演習」という授業で方法論を学んでいきます。日本語学コースには中世・近世・近現代を中心に、文法や音韻、語史など様々な分野に精通している先生方が揃っており、親身になって、学生に学習・研究のヒントを与えて下さいます。

それは卒業論文に色濃く表れており、各々が個性的で意義のあるテーマを選択しています。

そのような日本語学コースで、あなたの日本語に関する疑問を解決していきませんか。きっと、面白い世界が見えてくるはずです。

言語学 主専攻 Linguistics

中国語学コース

授業科目

- 中国語学概論 ■ 中国語文法論 ■ 中国の言語と文化 ■ 中国語論文演習 ■ 中国語学特講 ■ 中国語学演習 など

中国語の多様な姿を知り、中国語学への理解を深める 教授 [中国語学、歴史文法] 伊原 大策

「中国語」と聞くと、ジェイ・チョウ(周杰倫)の歌やチャン・イーモウ(張芸謀)の映画を連想する人が少なくないかもしれません。また一方で『三国志』や『封神演義』などを思い出す人もいでしょう。皆さんが已に親しんでいるこうした芸能・芸術以外にも、中国語は東アジアの広い地域において種々の形で影響を及ぼしているだけに、実に多様な姿を持っています。

中国語学コースは、空間的に広範な使用人口を持ち、時間的に悠久の歴史を持つ中国語について、そのあらゆる現象に対して言語学の立場から考えを深めようとするコースです。そのためには、中国語の基礎力を固めることが重要なのは言うまでもありませんが、中国の政治・経済から歴史・哲学にまで興味を持つことも大切です。

中国語学について幅広く学べば学ぶほど、知的スリルに満ちた中国語の世界が皆さんの眼前に現れるはず。この広大な中国語学の世界を、我々教員とともに冒険してみませんか。



留学先の北京にて



伊原 大策
中国語の「話し言葉」がどのような言語環境のもとでどのように変化してきたかを追跡し、その変化の背景にある原理を探ることが、私の主な研究テーマです。



大塚 秀明
中国語の語彙、語法の研究や日中語彙の比較研究が、私の主な研究テーマです。



佐々木 勲人
現代中国語の文法、とくに受身文や使役文、受益文などについて、日本語や英語などと比較対照しながら、中国語の特徴を明らかにすることを目指しています。



池田 晋
中国語の指示詞や「来(くる)、去(いく)」等の動詞について研究しています。とくにこれらの語が担う「接続」の働きに興味があります。

コースの声

4年 余 聡

「水の至るところに華僑あり」と言われるほど、今や世界中の至る所で中国人が経済的に大きな力を持ち、巨大な華人ネットワークを形成しています。日本のみならず、世界各地で増え続ける中華街がその実情を物語っていることでしょう。

中国人とのコミュニケーションでは一般的に、大多数を占める漢民族の言葉である「漢語」が共通語として使用されています。しかし、漢民族と一口にいっても、その中には北京も上海も広東も含まれています。言語政策により、共通語として主に北京語を中心として規定された言葉。これが、一般的に「中国語」と呼ばれているものです。

また、「漢語」は中国大陸本土のみならず、台湾や香港、さらには華人ネットワークが大きく活躍するシンガポールやマレーシアと広範囲で話されています。南方系が多く活躍する当該地域では、標準語とされている「漢語」とは、やや文法や語彙が似て非なる「漢語」が話されています。この違いは、一体どこから生まれるのでしょうか。

中国語学コースでは、このような疑問点を中国語全般取り上げ、文法論や音韻論といった観点から検証していきます。中国語学を学ぶにあたっては、中国語が話せることが前提となりますが、心配無用です。何よりも本学の言語学コースは少数精鋭です。中国語が全くの初心者の人でも、きめ細やかな指導と手ほどきを受けることができます。

方言に着目して、比較研究をするのもよし。北京語に特化し、文法要素を考察するのもよし。中国語学コースは、偏狭な分野に捉われず、幅広い知的好奇心の期待に応えてくれることでしょう。

中国語学概論はどんな授業？

基礎科目として勉強する中国語の授業ではどうしても不足してしまう理論的な「なぜ?」を求めて講義を進めます。並行して履修する一般言語学の知識を中国語という個別の言語にあてはめてみることも楽しいことです。概論では、発音の初歩から、音韻・文法・語彙の各分野のアウトラインまで、最新の学界動向も紹介しつつ、体験を交えた中国語学の学び方や読んで面白く役に立つ図書を紹介なども行います。

先輩たちの卒業論文

- ・TV番組に見られる台湾国語 -台湾国語らしさとは何か-
- ・民国期の上海都市小説に見られる外来語について
- ・中国語・日本語・朝鮮語の発見を表す表現について
- ・主語に関する中国語と日本語の対照研究
- ・『兒女英雄伝』における可能補語の用法と その特徴について
- ・中国語の受動表現と使役表現
- ・中国語における時間と空間の対応関係

英語学コース

授業科目

- 英語学概論 ■ 英語文法論・統語論 ■ 英語意味論・語用論 ■ 英語音韻論・形態論 ■ 英語学論文演習
- 英語学演習 ■ 英語論文購読 ■ 英語学研究



英語の仕組みを知る

教授【英語学】小野塚 裕視

英語学コースでは、英語ということばの背後にある様々な仕組みを学び考察します。その範囲は広く、音に関わることがら、語と文の形と意味、文の集まりである文章や会話、使用する人や場面との関わり、歴史、日本語との比較など多岐にわたります。授業では論文の読み方、書き方などの訓練を行いながら、英語の諸相に関わる仕組みがどのようにになっているかを知識として学び、さらにそこにある色々な問題を考えます。仕上げとして卒業論文の執筆がありますが、そこでは、ある主題を選んで、問題点を探り出し、それを自分で考察することが求められます。英語学を学ぶことで、英語についてそれまで知らなかった多くの興味ある知見を得ることができ、結果として英語がより一層身近なものになるでしょう。専攻を希望する人は、ある程度以上の(特に読み書きの)英語力が必要になりますので、1年生の時からしっかり勉強しておいて下さい。また普段から問題意識を持って英語に接するように心がけるのがよいと思います。

加賀 信広 (生成統語論・意味役割理論)

じっと見ているとききれいな規則性が透けてくる。そんな言語研究の快感!

廣瀬 幸生 (意味論・語用論)

ことばから人間について考える面白さを味わってみたいと思います。

安井 泉 (英語学・言語文化)

人はことばと文化にくるまっている。豊潤なことばの世界に文法と文化から迫る。

柳田 優子 (理論言語学・統語論・言語類型論)

英語や日本語を中心にさまざまな言語を比較分析することにより言語の普遍性と多様性に関する研究をしています。

宮腰 幸一 (統語論・意味論)

表面的な言語現象の背後にある法則を科学的に解明する楽しさを学んでほしいと思います。

和田 尚明 (意味論・文法論)

英語という言語の本質を知りたい人にはぜひ学んでほしい学問分野です。

長野 明子 (形態論)

「語」(Word)という単位を中心に、言語の規則性、生産性、変化、などの問題について考えています。

英語学概論はどんな授業?

英語学というのは、英語を対象とする言語学のことです。言語学とは、人間の用いることばの仕組みを明らかにする学問のことです。ことばには、音声があり、音声は意味を伝えます。そして、音声と意味を結びつけるのが文法です。音声にも意味にも文法にも一定の規則性があります。だからこそ、人間はことばで意思疎通ができるのです。英語をもとに、ことばの規則性について考え、英語自体への理解も深めることを目的とする授業です。

先輩たちの卒業論文

- ・A Study of English Phrasal Verbs
- ・English Prepositions and Image Schemas
- ・A Study of the Discourse Marker Well in English
- ・Some Aspects of Argument Structure in English
- ・Complement Selection in English
- ・A Semantic Analysis of English Verbs in Cookbooks

コースの声

卒業生 安原 正貴

英語学コースでは、とにかく英語という言語に関する様々なことを深く掘り下げていくことが出来ます。したがって、皆さんが関心を持つ事柄はなんでも研究対象になります。そして、皆さんの関心を最大限に引き出し、熱心にアドバイスをくれる先生方がいます。

私は将来、英語に関わる仕事をしたいと考え、英語のスキルを上げたいという理由で英語学コースを選びました。英語を上手に話す力・聴く力・読む力・書く力は市販の学習参考書を用いれば上達させることが出来ますが、母語のように英語を使いこなすには、英語の母語話者の直感を身につけなければなりません。そして、英語学で行われている研究以上に根拠を持って母語話者の直感をとらえられている学習参考書はありません。したがって、英語学コースに身を置くことは、英語のスキルを上げるうえでも非常に効果的であると感じました。

英語学コースで得られることは学問に限らず、自信を持って英語を教えられる豊富な知識であったり、研究論文の読解を通して得られる論理的な考え方やプレゼン方法であったり、個性的な先生方の昔話であったりと、英語学コースは現代社会を生きていく上で役に立つことが満載です!
(本学大学院人文社会科学研究所在学)

仏語学コース

授業科目

- 仏語学概論 ■ 仏語文法講読 ■ 仏語意味論 ■ 仏語文法論 ■ 仏語音声学・音韻論 ■ 仏語演習
- 仏作文・会話演習 ■ 仏語学演習 ■ 仏語史講義 など

フランス語圏の言語文化へアクセスしよう

教授【フランス語学】青木 三郎

フランス語学はフランス語を研究対象にした学問です。フランス語は国際連合の公用語で、世界中で広範囲に使用されている言語です。その地域はフランスのみならず、ヨーロッパ、北米、そしてアフリカをカバーしています。フランス語は文学や哲学などの学問だけではなく、文化(ファッション、料理、演劇、音楽、映画)、国際協力(国境なき医師団等)などいろいろな範囲で活躍しています。本コースでは、こうした現代フランス語の仕組みや発音の特徴、語彙の性質、ことわざの実際の場面での使い方、会話にともなうジェスチャー、フランス語の広告、宣伝など、さまざまなフランス語の現象を学んでいきます。その根底にある発想や価値観を探っていくスリリングな冒険が、フランス語学です。

仏語学コース独自ホームページ: <http://www.lingua.tsukuba.ac.jp/lgfr/licence.htm>



山田 博志

現在の研究テーマは二つありますが、一般的にいえば、言語が持っている曖昧さ(必ずしも悪い意味ではありません)に興味を持っています。なぜ曖昧さが存在するのか、実際のコミュニケーションの場では、その曖昧さがどのように解消されるのかを、フランス語の文法を中心に研究しています。



渡邊 淳也

意味論・語用論を専門としています。とりわけ、話し手の判断や情動をあらわす表現に興味があります。言語表現を、外界の事物に貼られるレッテルとしてみるのではなく、生きた営為の痕跡としてみることで、さまざまな発見が得られます。授業を通じて、その過程と一緒に体験していただきたいと思っています。

コースの声

卒業生 三浦 裕子

「第2外国語はフランス語!話せたら絶対かっこいい。」こんなミーハーな気持ちから始めたフランス語。最初は驚きの連続でした。性数一致って何?接続法って?...勉強すればするほど、楽しい!もっと知りたい!と思うようになり、今ではすっかりフランス語に夢中です。

ことばは文化であり、ことばを学ぶことは、そのことばを話す人々の価値観を学ぶことだ、と思います。私はフランス語を始めてから、フランスのワインとチーズを買ってみたり、有名なフランス文学を原書で読んだり、シャンソンを聴いてみたり、フランス菓子を作ってみたり...と、自分の世界を広げることができました。仏語学コースでは、文法、会話だけでなく、歴史、詩、音楽など様々な切り口からフランス語についてアプローチしていきます。さらに少人数制のため、きめ細やかな指導の下、自分の興味関心をとことん追究でき、学習環境は最高です。

ちょっとでもフランスに興味のある方、大学で視野を広げたいと思っている方など、どんなきっかけでもかまいません。仏語学コースにきて一緒に勉強しませんか?

仏語文法講読はどんな授業?

フランス語には多くの時制があります。過去時制を例にとると、複合過去、単純過去、半過去、大過去、前過去など。授業ではこれらの時制の実に繊細な区別を学びながら、フランス語話者が時間を捉える際の精神の動きをかいま見ることができます。

先輩たちの卒業論文

- ・フランス語における複合過去形-英語との比較を通して
- ・フランス語の新聞の見出しの言語学的特徴について
- ・フランス語の知覚構文における知覚事態の表現形式について
- ・フランス語における場所の前置詞について
- ・フランス語における使役構文の意味論的分析
- ・フランス語における連結辞 d'ailleursの機能と用法
- ・『ポール・ロワイヤル文法』における名詞、動詞、記号について

独語学コース

授業科目

- 独語文法論
- 独語学概論
- 独語史概説
- 独文法演習
- 独作文演習
- 独語学研究



伝統と将来性の独語学

教授【日独語彙文化論】伊藤 眞

独語学は、ヨーロッパの中心言語であるドイツ語を対象とする学問分野です。ドイツ語は音楽やグリム童話、さらにはケーキや車などを通じて私達には馴染みのある言葉です。独語学コースではドイツ語の歴史的発展やドイツ語と他言語の比較など、言語と文化に関する様々なことが勉強できます。何も難しく考えることはありません。「ちょっと面白そうだな」と思うことから始めてみましょう。自分の世界の広がりを実感できるはず。ドイツのみならずヨーロッパに少しでも興味のある人はぜひ、独語学コースで勉強してください。教員一同大歓迎です。

伊藤 眞 (日独語彙文化論)

それぞれの言語の語彙には、その言語を使っている人達の文化やものの見方などが反映されています。そのようなものの見方を探っていると思えばよいかもしれません。

大矢 俊明 (英語とドイツ語の比較)

ドイツ語はもちろん、外国語を一生懸命勉強しましょう。自ずと日本語についてもよく考えるようになり、さらに自分の考えを適切に表現することができるようになります。

黒田 享 (中世ドイツ語・言語政策・比較言語学)

少しでもドイツ語がうまくなりたと思って志したドイツ語学ですが、学べば学ぶほどドイツ語の難しさを痛感します。みなさんと一緒にドイツ語の奥深さに触れてみたいと思っています。

住大 恭康 (テキスト言語学)

誰かに何かを伝えようとする時、様々な表現が使えます。しかし、特定の状況・文脈では、ある表現がより適切、あるいは、より不適切と感じられます。そのような印象が何によってもたらされるのか、ドイツ語を手がかりに一緒に考えてみませんか。



上:ノイシュヴァンシュタイン城(Schloss Neuschwanstein)

下:ベルリン・ドイツ連邦議会(Deutscher Bundestag)

独語学概論はどんな授業?

4人の教員で担当し、それぞれが独語学のおもしろさを概説します。例えば、ドイツ語がどのような歴史的発展を遂げて、他のヨーロッパ言語とどのような関係にあるのか、ドイツ語は英語や日本語とどこが違うのか、日本語の小説はどのようにドイツ語に翻訳されているのか、ドイツ語の語彙はドイツ語圏の文化や社会とどのように関連しているか、などのトピックについて具体例を示しながら考えていきます。ユニークな考え方に触れると同時に、新しい言葉を勉強する面白さを発見するはず。

先輩たちの卒業論文

- ・カザフスタンにおけるドイツ移民のドイツ語音声研究
- ・モダリティ助動詞の独英対照比較
- ・ドイツ語複合動詞の前綴りanとaufについて
- ・日独時間表現の比較
- ・ドイツ語・英語・日本語の省略に関する一考察
- ・ドイツ語と日本語の慣用表現について
- ・従属接続詞と文を構成する諸要素との共起関係
- ・ドイツと日本の広告比較
- ・現代ドイツ語のフォーカスについての基本的考察
- ・ドイツ語の自他交替に関する一考察
- ・ドイツ語の複合名詞に関する考察
- ・アクセントの有無と品詞分類についての一考察

コースの声



4年 野澤 麻衣

ドイツ語はドイツをはじめ、ドイツに隣接する多くの国で話されている言語です。ヨーロッパに興味がある人はドイツ語を学んでみると世界が広がります。

私は、入学時は英語に興味があり、コースも応用言語学コースや英語学コースを考えていました。しかし、第二外国語のドイツ語の授業の役に立つかと思い独語学概論を履修したことでドイツ語学専攻に進みたいという考えに変わっていきました。ただドイツ語を学ぶだけでなく、日本語や英語と比較して様々なことを考える機会が多く、私はそこに面白さを感じました。そのような私の興味を追求できるのが独語学コースでした。

独語学コースで勉強することは、独英語の文法比較など「言語学的」な授業がメインになりますが、文法・読解・作文などの「語学的」な授業もあります。先生方と学生の距離が他のコースに比べて近いので、なごやかな雰囲気のおかげで丁寧な指導を受けることができます。

まずは独語学概論の授業で、ドイツ語のさまざまな側面について触れてみてはいかがでしょうか。

露語学コース

授業科目

- 露語学概論
- ロシアの言語と文化
- 露語音声学・音韻論
- 露語文法論
- 露語学特講
- ロシア語言語文化特講
- ロシア語演習
- 露語学演習
- 露語会話・作文演習
- 露語学研究

ともあれロシア語を始めてみませんか!!

准教授【露語学、文法論】白山 利信

ロシアは、中国や韓国と同じ隣国であるにもかかわらず、今も多くの日本人にとって馴染みの薄い近くて遠い国というイメージが強いようです。しかし、かつてないグローバル時代が到来した今、東アジア地域の共生・共栄という視点に立つと、ロシアとの良好な関係づくりはまさに時代の大きな要請となってきています。その意味で、これからロシア語を学ぶことの意義は大きいと思われます。ロシア語は、英語・ドイツ語・フランス語と同様にインド・ヨーロッパ語族に属しますが、ラテン文字ではなく、独特なキリル文字を用いているため、学習の初期段階では戸惑いを感じるかもしれません。しかしながら、日本人教員とロシア人教員による丁寧かつきめ細かな指導を行っていきますので、心配は無用です。本コースでは、豊かなロシアの言語文化の一端を楽しくじっくりと学んでいきますが、まず1・2年次では、聞く・話す・読む・書くという四技能の基本をしっかりとし身に付け、さらに3・4年次において、より高度な専門的立場からロシア語の構造(音韻、形態、統語など)にアプローチしていきます。

また本学のロシア語圏諸国(ロシア、ウクライナ、バルト諸国、中央アジア諸国)の協定校(現在14大学)への交換留学を通して、本場の生きたロシア語を学ぶ体制も整っています。



上:ロシアの言語と文化を学ぶ

下:サントペテルブルグの風景(エルミタージュ美術館)

コースの声



卒業生 松下 聖

ロシア語を喋っているのは、誰でしょう。有名人ではどのような人が思い浮かびますか。ロシアのメドベージェフ大統領、プーチン首相、フィギュアスケートのプルシェンコ選手……といった面々でしょうか。彼らは、白い肌で、目鼻立ちがくっきりしている「ロシア人」ですね。もちろん、ロシア語を話すのは

ロシア人だけではありません。ロシア連邦内に住んでいるアヴァール人、タタール人、イングーシ人、カラチヤ人、カルムイク人、エスキモーなど100以上の民族は、自民族の言語に加えてロシア語も併用します。さらに、ロシア連邦以外でも、かつてソ連邦を構成していたウクライナ、ベラルーシ、カザフスタン、キルギスなどでは、ロシア語が広く使われています。カザフ人、キルギス人などには日本人と顔立ちが似ている人も多いため、近所のおばさん、おじさんがロシア語を喋っているのをイメージしてください。少し意外な感じはしませんか?

では、なぜロシア人だけではなく、自らの民族語を持っている人々までもがロシア語を話すのか。その問いに向き合おうとすれば当然、政治や歴史についても考えなければなりません。かつてどのような経緯でロシア語が広まり、現状はどうなっているのか。何が問題なのか……。

このように「ロシア語を喋るのは誰か」という単純な問いは、複雑な現代世界や果てなき歴史の海へと繋がっていきました。言語学専攻露語学コースで学ぶということは、単にロシア語の文法や発音を言語学的に学ぶことではありません。ロシア語を入り口として、言語とは何か、その言語が使われている社会とはどのような社会か、その社会の文化とはどのようなものなのかなど、多くのことを考えることです。そうは言っても、ロシア語の口の字もほとんど見かけない日本に居ては、どうにも実感がわきません。そこで、露語学コースでは基本的に全員が海外留学します。行先はロシアの名門・サントペテルブルグ大学をはじめ、キエフ大学などロシア語圏の有力大学です。交換留学制度を利用するので、単位交換を有効に活用すれば4年間で卒業することも可能です。このような恵まれた環境に出会えるチャンスは、滅多にありません。思い立ったが吉日です。一歩踏み出せば、そこには思いもよらない出会いが待っているはずです。

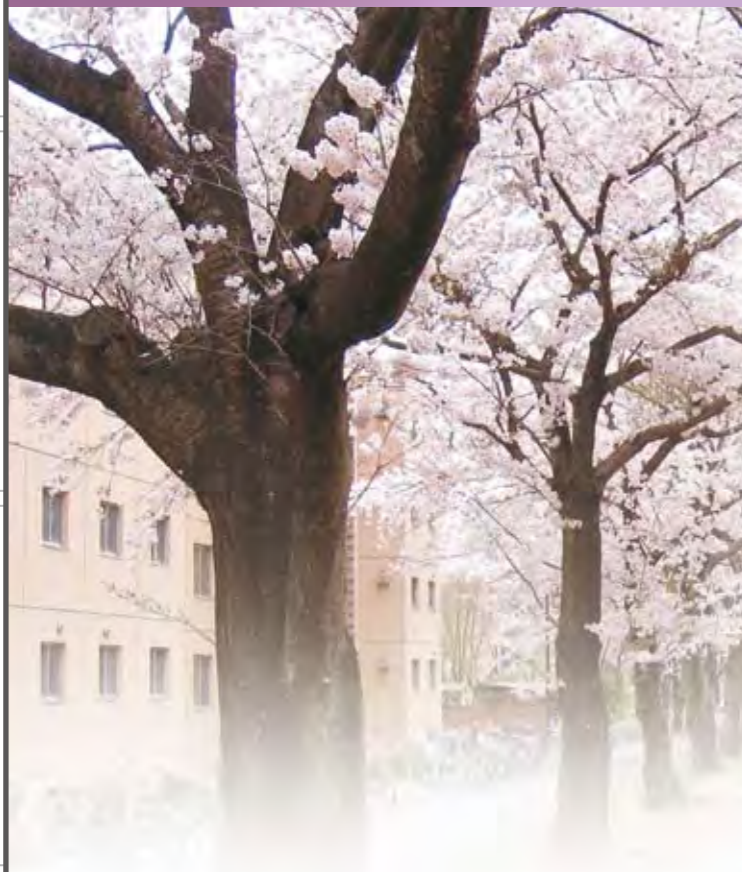
露語学概論はどんな授業?

初めてロシア語に接する人に発音(音声、音韻体系)、文法(形態、統語)などをやさしく概説し、ロシア語は全体としてどのような言葉か理解してもらいます。その中でロシア語の興味ある点、問題を見いだしてもらうことも目的としています。

先輩たちの卒業論文

- ・ロシア語・日本語の対照研究
-動詞表現を中心として-
- ・現代ロシア語における命令法について
- ・ロシアの昔話における「語りはじめ」と「語りおさめ」の言語学的研究
- ・現代ロシア語における名詞分類に関する多元的研究
- ・現代ロシア語における動詞分類に関する研究
- ・ロシアの昔話、寓話における名詞表現に関する研究
-動物を表す名詞の性別、役割及びイメージを中心として-
- ・ウクライナにおけるロシア語
-ロシア語とウクライナ語の関係における諸問題-

卒業生の進路 就職と進学



主な進路 (平成20-22年度)

製造業

本田技研工業
日野自動車
シチズン電子
三菱化学
久光製薬
山崎製パン
日本たばこ産業

小売・流通業

丸紅
ニトリ
ヨドバシカメラ
青山商事
日ソ貿易

金融・保険業

三菱東京UFJ銀行
三井住友銀行
日本政策金融公庫
常陽銀行
群馬銀行
住友生命保険
明治安田生命保険

通信・出版業

朝日新聞社
読売新聞社
NHK出版
第一法規

運輸業

東日本旅客鉄道
京浜急行電鉄
日本貨物航空

サービス業

NHKエンタープライズ
ヤフー株式会社
楽天

日本土地建物
ベルシステム24
レオバレス21
JTB関東
日本旅行
東芝ソリューション

その他

中部電力
昭和大学(職員)
東京理科大学(職員)

教職

東京都立高等学校教員(英語科)
愛知県立高等学校教員(国語)
群馬県立中学校教員(英語科)
長野県立中学校教員(社会科)
山梨県立中学校教員(社会科)

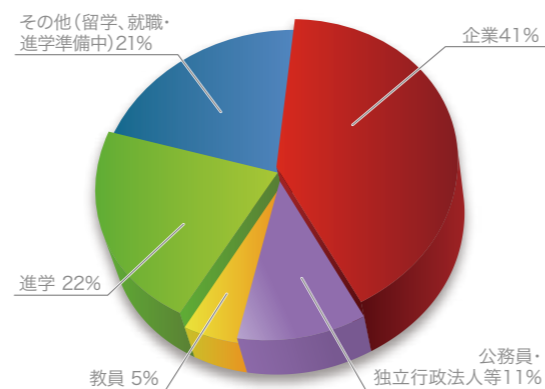
公務員

外務省(専門職員)
東京入国管理局
人事院
東京都庁
茨城県庁
群馬県庁
愛知県庁
つくば市役所
藤沢市役所
名古屋市役所
岐阜県警察本部

進学

筑波大学人文社会科学研究所
筑波大学教育研究科
京都大学文学研究科
東京大学人文社会系研究科
東京大学総合文化研究科
早稲田大学大学院文学研究科
東京芸術大学美術研究科

平成23年3月卒業生(116名)の進路



人文学類におけるキャリア支援

本学には、学類の壁を越えて学生のキャリア、ことに就職を支援する体制があり、公平に就職情報を提供したり、各種講座の開催や東京での就職活動拠点の提供など、積極的なキャリア支援がある。しかし、人文学類に入学した学生には、理系でも社会科学系でもない人文学類生特有の悩みや望みもあるだろう。人文学類には、そうした学類生のニーズに応えるべく、学類としての就職支援体制がある。

たとえば、自然科学や法律などの実利的セールスポイントをもつことが少ない人文学類の学生が、就職活動においていかに振る舞い成功したかを情報交換する会として、実際について最近まで就職活動を行っていた人文学類の4年生と、間近に就職活動を控えた3年生や将来を模索している1、2年生とが話し合える機会を設けたり、教育大学としての伝統を踏まえて、第一線で教育に携わっている先輩等から、教職をめざすにあたって今留意しておくべき点のレクチャーを受ける催しを開催したりなどして、学生に好評を博している。

もちろん単に目先の就職や進学にとらわれることなく、学生の人生のキャリアを全体として充実させることができるよう配慮したい。授業内容にもそのような配慮がなされているが、昨今、企業の採用活動の前倒し、採用手続きの煩瑣さには目に余るものがある。「研修」と称して平日に招集をかけられ、真剣に取り組んできた授業・試験との重なり苦悶する学生を見ることは稀ではない。また、学生のほうも次々目移りして就職活動を引き延ばしている場合もある。単なる就職予備校、進学予備校にとどまることのない大学の教育の一環として、決して学生に不利にならないように留意しながら、人文学類で学んだことが将来、真に生かせるようキャリア支援を行なってゆきたい。

卒業生のメッセージ



平成20年度卒(考古学・民俗学)
外務省 御澤 真一郎

人文学類は歴史・言語を深く研究できる環境であり、私は専攻以外に韓国語に関心を持ち、他学類の授業であっても自分にとって興味深いものはどんどん履修していました。

特に考古学、歴史教育、そして半年程留学した韓国との国際関係を勉強したいと考えていたので、常にその三本の柱をイメージしつつ、中でも日韓の関係強化に携わることができたらと2年生の夏に考えたことが外務省で働くきっかけになりました。

「国・地域を理解する」ということは単に言語だけでなく、文化・歴史等をも学ぶことを意味し、それを欠いては真の意味での理解に到達できないのではと考えています。外務省では様々なバックグラウンドを持った人が働いており、大学で培った好奇心と知識が生かせるように正に日々努力しているところです。是非皆さんも人文学類で様々なことに関心を持ち、有意義な学生生活を送ってみませんか。



平成20年度卒(応用言語学)
栃木県立中学校英語教員 石川 春野

私は、在学中、言語学主専攻、応用言語学コースを専攻し、英語という言語の特性についてはもちろんのこと、言語を習得する過程について、英語習得に効果的な学習方法について主に学ばせていただきました。さらに、他学群の授業にも参加することで、幅広い知識を得ることができました。現在は、栃木県立中学校で、英語教師をしています。性格や家庭環境、学力的にも多様な生徒が、一緒に授業を受け生活を共にしています。その中で、英語についての豆知識を話したり、英語を習得しやすい方法を授業に取り入れられたり、大学で学ばせていただいたことを日々の授業に生かしています。授業や生徒の指導に関しては、苦勞することも多いのですが、生徒と共に成長する教師でありたいと考えています。皆さんも、人文学類で学び英語教師を目指してみませんか？



平成21年度卒(哲学)
株式会社NHK出版 宮川 礼之

「哲学、私も大学でやれたかったです」。社会人になってから、よくこんなことを言われます。興味はあるものの将来のキャリアにうまく結びつかないと考え、避ける学生が多いのでしょうか。ここで、いやいや辛抱強く考え抜く力が身につきますし、筋道の通った説明は相手に信頼感を与えますよ、と哲学の実用的な面を列挙することも可能ですが、正直なところ、それは二の次。哲学的な関心事を放っておくことができない!という理由で十分です。私の場合は、ゼミなどで思想や書物、語学に親しんだことが、出版社に職を得る大きな要因になったかもしれませんが、それは振り返ってみて初めて思うことです。打算なく、好きなことに力を注ぐことのできるありがたい時間を得たなら、それを存分に活かされることをお勧めします。



平成20年度卒(日本史)
本学大学院
人文社会科学研究所在学 山邊 菜穂子

私は人文学類の日本史コースに4年間在籍し、その後筑波大学の大学院に進学しました。

大学時代には大変多くのことを学びました。人文学類では早い段階から専門分野に取り組むカリキュラムになっており、日本史の場合ではくずし字という昔の文字を読まされるなど、高度な授業も少なくありません。授業がつかづく感じもあると思います。ですが、4年間経ってみると、本格的・専門的に勉強する機会を得られたことにとっても大きな喜びを感じるはず。筑波大学は、自分が「勉強したい!」とさえ思えば、色々なことを学び、そして吸収できる所です。

そして、人文学類では専門分野の話や熱く語れる友達や先輩にもたくさん出会えるので、4年間きっと楽しく過ごせると思います。みなさんの「意欲」を、先生方や先輩方もきっとサポートしてくれます。人文系の学問に興味のあるみなさんは是非筑波大学にいらしてください。

人文学類に関する Q&A

入試情報

Q 希望通りの主専攻分野に入れますか？

A 入れます。3年次に進むときに正式な主専攻分野と専攻コースの決定を行います。人数制限などはまったくありませんので、当該専攻コースで定められている専門基礎科目(4コマ、12単位)の履修が済んでいれば、希望通りの主専攻および専攻コースに入ることができます。

Q 主専攻分野の途中変更は可能ですか？

A 可能です。やはり、専門基礎科目の履修が条件になりますが、希望する場合は十分に可能です。例えば、史学主専攻を希望していた学生が、ロシア語の授業を受けているうちに、ロシア語を本格的に勉強したくなり、言語学主専攻の露語学コースに変更した、などの例がありました。

Q 取得可能な資格について教えてください。

A 所定の教職科目を履修すると、中学校及び高等学校教諭一種の教育職員免許状取得のための資格を得ることができます。人文学類で取得できる教員免許状の教科は、国語、社会(高校は地理歴史、公民)、英語、ドイツ語、フランス語、中国語です。
また、「博物館学」等の単位を修得すれば、学芸員の資格を得ることができます。

Q 語学教育の内容について教えてください。

A 筑波大学では、1～2年次に履修すべき共通科目として、外国語センターで開講されている外国語を学びます。外国語センターでは、英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、スペイン語、朝鮮語などを学ぶことができます。人文学類の学生はの中から二つの外国語を学びます。

多くの学生が第一外国語として選択する英語については、1年次に週3コマの授業を受講することによって4.5単位を履修し、2年次に1.0単位を履修します。1年次には、大学の学問に必要な英語の言語技能を習得する科目と、英語を通して、異文化に対する理解や教養を深め、思考力を養う科目を履修します。2年次には、より専門性の高い領域で英語を用いるための技能を身につける科目(英語論文の書き方や英語でのプレゼンテーションの仕方など)を履修します。

第二外国語については、第一外国語とは異なる外国語を選択し、4.5単位(英語を選択する場合は5.5単位)を履修します。上述のように、筑波大学では、共通科目の外国語として様々な言語が学べる環境が整っていますので、未知の外国語の学習にも積極的に取り組み、多様な言語・文化に触れ、視野を広めてください。

筑波大学ではコンピュータを用いて言語学習を支援するシステムの整ったCALL教室を導入しています。授業内での活用はもちろん、コンピュータを用いて外国語を自習するための教材の利用も可能です。また、メディアライブラリーには、たくさんの語学視聴覚教材や、外国語学習に適した映画やドラマ等のDVDが備えられていて、自由に利用することができます。自分のペースで楽しみながら学習し、どんどん語学力を伸ばすことが可能です。

人文学類で専門的に学ぶことのできる言語としては、日本語、中国語、英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、モンゴル語、満洲語、チベット語、ギリシア語、ラテン語、サンスクリット語、ヘブル語、アッカド語などがあります。この中には他大学ではなかなか学ぶチャンスのない言語も含まれています。人文学類では、様々な言語について深く学ぶことを通じて人間の本質に迫る知的体験を得ることができます。

Q 文系は就職が不利ですか？

A 一概にそうは言えないと思います。最近の就職先については本冊子の26ページをご覧ください。

Q 留学制度はありますか？

A あります。詳しくは本冊子の4ページをご覧ください。その他のQ&Aは下記のウェブページで読むことができます。
<http://www.jinbun.tsukuba.ac.jp/qanda.html>

入学定員

1学年120名(留学生を除く)

入学者選抜方針(アドミッションポリシー)

教育目標	「人間とは何か」という問いを根底において、人間の諸活動を主体的に考察するとともに、現代における諸問題にも積極的に関与しうる、真に教養ある人材を育成すること。	
求める人材	広い視野にたつて人間と文化と社会に対して強い関心を持ち、柔軟な発想力と自分の言葉でそれを考え、調査・分析し、論理的に深めて、研究成果としてまとめ、発信する強い意志を有する人材。	
入学までに学んでおいて欲しいこと	日本語及び外国語に関する優れた能力、並びに日本及び外国の文化に対する高い教養を身につけておくことが望ましい。また、本学類の主専攻(文学、地域、思想)に関連する社会科学科目の知識を備えていることが望ましい。	
入学者選抜方針	個別学力検査(前期)	十分な基礎学力をもち、高い問題意識をもって人文系の学問に取り組むことのできる人材を選抜する。
	個別学力検査(後期)	論理的な思考力と表現力をもつと同時に、旺盛な知識欲と探求心を有する人材を選抜する。
	推薦入試	高等学校における学習の基礎の上に、個性豊かな課題意識と向上心をもつ人材を選抜する。
	AC入試	専門的知識を主体的に吸収し、自己の判断力を磨いていく能力を有する人材を選抜する。
	第2学期推薦入試	旺盛な知識欲と探求心をもち、海外での生活経験を基に新たな問題提起をなす発展性のある人材を選抜する。

入試スケジュール

- 10月：AC入試(アドミッションセンター入試)
 - 11月：推薦入試
 - 2月：個別学力検査(前期)
 - 3月：個別学力検査(後期)
- このほかに、以下の入試があります。
- 第2学期推薦入学(帰国生徒が対象/試験時期7月/若干名)
 - 私費外国人留学生選抜(日本国籍を有しない者が対象/試験時期2月/若干名)

本学のアドミッションセンター窓口(本部棟2階)で入試関連資料が入手できます。

受付時間：9:00～11:45、13:15～16:30(土曜、日曜、祝祭日、休業日を除く平日)
〒305-8577 茨城県つくば市天王台 1-1-1 筑波大学アドミッションセンター
電話：029-853-7385、7386 FAX：029-853-7392
メール：admission@ac.iit.tsukuba.ac.jp

人文学類ウェブサイト(<http://www.jinbun.tsukuba.ac.jp/>)もぜひご覧ください。

人文学類に関するニュース、授業のシラバス、教員によるブログ「学問のすすめ」など、本冊子にはない情報をご覧いただくことができます。携帯サイトもあります。 <http://www.jinbun.tsukuba.ac.jp/mobile/web.php>